

大湊村村民体育館増改築基本設計業務委託
基 本 設 計 書

令和 7 年 3 月

1. 目次

1.	目 次	0 1－0 1
2.	基本設計方針	0 2－0 1
3.	土地利用計画上の条件	0 3－0 1
4.	基準法チェックリスト	0 4－0 1～0 3
5.	配置計画	0 5－0 1～0 2
6.	平面動線計画	0 6－0 1～0 2
7.	平面計画	0 7－0 1～0 6
8.	立面計画	0 8－0 1
9.	断面計画	0 9－0 1
1 0.	外部・内部仕上表	1 0－0 1～0 5
1 1.	工程表	1 1－0 1
1 2.	環境配慮	1 2－0 1
1 3.	防災計画	1 3－0 1～0 2
1 4.	バリアフリー計画	1 4－0 1
1 5.	建物意匠デザイン・色彩計画	1 5－0 1
1 6.	敷地内における除雪空間確保の検討	1 6－0 1
1 7.	構 造 計 画	1 7－0 1～0 7
1 8.	電 気 設 備 計 画	1 8－0 1
1 9.	機 械 設 備 計 画	1 9－0 1
2 0.	概 算 工 事 費	2 0－0 1

2. 基本設計方針

『気軽に健康づくりを楽しめるにぎわいと交流のスポーツ施設』

健康づくりを楽しみ、多世代が交流する『スポーツ施設』を計画します。

(1) スポーツ施設の3つのコンセプト

- 1) 村民の生涯スポーツの場として身近なスポーツ施設
- 2) 村内スポーツ団体を中心に、スポーツを通じた交流の拠点施設
- 3) 災害時の指定避難所として防災の拠点施設

1) 村民の生涯スポーツの場として身近なスポーツ施設

- ① 施設内は様々な場所で運動ができる施設
- ② 子どもから高齢者まで、全ての世代が運動を楽しめる施設
- ③ 交流を促し、心と体の健康を高め合う施設

2) 村内スポーツ団体を中心に、スポーツを通じた交流の拠点施設

- ① スポーツの全県大会、東北大会等が開催しやすい施設

3) 災害時の避難所として防災の拠点施設

- ① 通常災害時に対応した安全・安心な避難所
- ② 大規模災害時に備えた広域防災拠点

(2) 施設整備基本な目的

・村民のスポーツ活動の拠点としての役割はもちろん、大規模なスポーツ大会や文化大会、各種イベントの開催において大湊村のスポーツ・文化の発展、地域の活性化に寄与し、村内のスポーツ施設の適正な配置や維持管理を可能とするため、体育館施設を整備します。

(3) 施設整備基本方針

・生涯スポーツ活動を支援し、村民の心身の健康に寄与するとともに、高度なプレーを間近に観戦する機会を通して、スポーツへの参加する機運を後押しする施設づくりとします。

競技のスポーツのレベル向上や村民交流の場を提供するため、アリーナは競技スペース、大会時にも対応できる観覧席、屋外駐車場等を整備します。また、健康増進にも繋がる機能を有する多目的室やトレーニングルーム等施設を計画し気軽に健康づくりを行なうことができる施設とします。

3. 土地利用計画上の条件

1. 各種法令上の制約条件

所在地 南秋田郡大湊村北2丁目1番地
敷地面積 18,305.50㎡
既存床面積 2,347.88㎡
東 経 139度 96分 60秒
北 緯 40度 27分 90秒
前面道路 公道 幅員15.0m

2. 法的規制に関する前提条件

地域・地区 都市計画区域外
用途地域 用途地域なし
防火、準防火指定無し 第22条地域
建ぺい率 0%
容 積 率 0%
そ の 他 建築基準法、耐震診断・耐震補強、構造適合判定、バリアフリー条例、消防法、
秋田市火災予防条例、省エネ法、秋田市景観条例、土壤汚染対策法

3. 敷地周辺状況

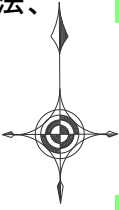
大湊村村民体育館は、秋田県南秋田郡大湊村にある施設です。

周辺にはホテルサンルーラル大湊や村民野球場などに囲まれ、西側には県営住宅もあります。

西側には県道男鹿八竜線42号、北側には県道男鹿琴丘線54号が通っております。



Google mapより



Google mapより

南秋田郡大湊村北2丁目1番地

4 . 基準法チェックリスト

関係法令	項目	担当課	適用の有無	提出期限	備考
●建築基準法関連規定	1 建築基準法	民間審査機関 建築確認 構造適合判定審査機関	有り	確認申請時	体育館、観覧場（特殊建築物）
	2 建築基準法施行細則 ・同実施要領	民間審査機関 建築確認 構造適合判定審査機関	有り	確認申請時	
●宅造規制・開発許可	1 宅地開発に関する条例 ・規則	大潟村 都市計画課	無し	公共施設等の管理者等と協議を行い当該開発行為の工事に着手する前(3～ 6ヶ月)	1mを超える切土 盛上が1000㎡を超える場合該当
●都市計画関連規定	1 大潟村計画の区域内に於ける建築物の制限に関する条例	大潟村 都市計画課	無し		整備計画の区域に該当しないため適用なし
	2 大潟村中高層建築物の建築に係る紛争の予防および調整	大潟村 都市計画課	無し	標識設置届→20日経過後以降に近隣説明会→20日後経過後以降に確認申請の提出	中高層建築物に該当しないため適用なし
●興行場法関連規定	1 興行場法	秋田中央保健所 （潟上市昭和） 秋田地域振興局 福祉環境部	無し	営業開始予定日前(検査実施から許可書の交付まで1週間程度)	興行場に該当しないため適用なし
	2 興行場法施行条例 ・同施行細則	秋田中央保健所 （潟上市昭和） 秋田地域振興局 福祉環境部	無し	営業開始予定日前(検査実施から許可書の交付まで1週間程度)	興行場に該当しないため適用なし
●公衆浴場法関連規定	1 公衆浴場法	秋田中央保健所 （潟上市昭和） 秋田地域振興局 福祉環境部	無し	営業開始予定日前(検査実施から許可書の交付まで1週間程度)	公衆浴場に該当しないため適用なし
	2 公衆浴場法施行条例 ・同施行細則	秋田中央保健所 （潟上市昭和） 秋田地域振興局 福祉環境部	無し		
●景観・緑化関連規定	1 大潟村景観条例 ・同施行規則	大潟村 都市計画課	有り	行為の届出 着工の30日前まで	高さが10m又は建築面積が500㎡を超えるものに該当するため適用。開発行為で面積が3000㎡を超えるもの又は規模が高さ3mを超える法面もしくは擁壁を生じるもの
	2 秋田県屋外広告物 ・工作物等及び屋外広告法	秋田県 都市計画課	無し		
	3 同上 自然・田園系景観	秋田県 都市計画課	無し		
●福祉関係規定	1 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 ・同施行令	秋田県秋田中央地域振興局建設部 建築課	有り	確認申請時	
	2 高齢者、障害者等の移動等円滑化の促進に関する法律施	秋田県秋田中央地域振興局建設部 建築課	有り	確認申請時	
	3 秋田県バリアフリー社会の形成に関する条例・同施行規則・同要綱	秋田県秋田中央地域振興局建設部 建築課	有り	工事に着手する日の30日前まで	適合証の取得
●消防 火災予防関係規定	1 消防法 消防火災予防条例・同規則	男鹿地区消防本部・男鹿地区消防署 予防課	有り	確認申請時	消防令別表1 （1）項イ（観覧場） （7）項（学校） （15）項（その他の事業場）に該当 管轄消防協議必要
●電波障害対策	1 電波法 電波伝搬路障害防止制度	総務省 東北総合通信局	無し	確認申請時	伝穀障害防止区域内に該当しないため適用なし
●その他	1 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律	民間審査機関 建築確認 省エネ適合判定審査機関	有り	確認申請時	第一種特定建築物(床面積の合計が2000㎡以上)に該当のため適用
	2 建設リサイクル法	秋田県秋田中央地域振興局建設部 建築課	有り	工事着手の7日前まで	工事施工者側で対応
	3 秋田県木材利用促進条例	秋田県農林水産部 林業木材産業課	有り		内装木質化の検討
	4 秋田県地球温暖化対策推進条例・規則	秋田県生活環境部 温暖化対策課	有り	特定事業者となった日の属する年度であつて計画期間の初年度となるものの7月末日まで	
	5 大潟村文化財保護条例	大潟村 教育委員会	有り		
	6 大潟村水道法施行細則	大潟村 上下水道課	有り	水道の布設工事に着手する前	
	7 土壌汚染対策法、汚染土壌の処理に関する指導要綱	秋田県秋田中央地域振興局建設部 建築課	無し	土地の形質の変更に着手する30日前まで	3000㎡以上の土地形質を変更(現状の地盤面からの切土・盛土が50cmを超えるもの) に該当のため適用
	8 建築物における衛生的環境の確保に関する法律 (ビル管理法) 施行令・施行細則	厚生労働省	無し		

4. 基準法チェックリスト

都市計画法・建築基準法・秋田県建築基準条例・秋田県ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ社会の形成に関する条例

関係法令	項目	規定内容	適用	適用条項	備考
都市計画法	用途地域	都市計画区域内の用途指定	都市計画区域外	都市計画法13条1項7号	
	防火地域	都市計画区域内の防火地域又準防火地域	指定なし 法22条指定地域	都市計画法9条20項	
建築基準法 建築基準法施工令 秋田県建築基準条例 (集団規定)	道路	敷地又は建物と道路の関係についての制限付加	基準法 適用：道路に2m以上敷地が接すること 県条例 適用：都市計画区域内 延べ面積1000㎡超 6m以上敷地が接すること	建築基準法第43条2項 秋田県建築基準条例第6条	
	壁面線	壁面線の指定	無し	建築基準法第46条1項	
	容積率	法定容積率	0%	建築基準法第52条	
	建ぺい率	法定建ぺい率	0%	建築基準法第53条	
	高さ制限	道路斜線制限	制限範囲20m、勾配1.25	建築基準法第56条1項1号 建築基準法別表第3	
		隣地斜線制限	立上り20m、勾配1.25	建築基準法第56条1項2号	
		日影規制	高さが10mを超える建築物 軒の高さが7mを超える建築物または、地階を除く階数が3以上の建築物 平均地盤面からの高さ 4.0m 日影規制時間 5時間、3時間	建築基準法第56条の二 秋田県建築基準条例第13条 建築基準法別表第4	
	防火地域・準防火地域	防火地域・準防火地域内の建築物の構造制限	防火地域の場合) S>100㎡ 又は 地上階数 ≥ 3・・・耐火建築物とする 準防火地域の場合) S>1,500㎡ かつ 地上階数 ≥4・・・耐火建築物とする 500㎡<S≤1,500㎡ かつ 地上階数≤3・・・耐火建築物又は準耐火建築物	建築基準法第61条 建築基準法施工令第109条、136条の2項 H12国土交通省告示1365	
	積雪荷重	南秋田郡大潟村北2丁目1番地 建設予定地	2.0m	秋田県建築基準条例第25条	
	居室	採光：開口部の採光に有効な部分の面積の床面積に対する割合	【用途：体育館・観覧場】 通常は居室：1/10 ※スポーツ施設の「居室」には採光規定は適用されない	建築基準法第28条1項 建築基準法施工令第19条2,3項 H12国土交通省告示2465	その他の居室については室の具体的な 使い方により判断する
		換気：開口部の換気有効な部分の面積の床面積に対する割合	1/20もしくは機械換気設備	建築基準法第28条2項 建築基準法施工令第20条の6	シックハウス症候群対応
		天井の高さ（居室） 競技必要天井の高さ（体育館）	h≥2.1m バレーボール h≥12.5m（中央）10.5m（端） バスケットボール h≥7.0m（基準）	建築基準法施工令第21条1,2項 各競技規則（参考）	
建築基準法 建築基準法施工令 秋田県建築基準条例 (単体規定)	耐火構造等	耐火構造としなければならない特殊建築物	2階以下の階を観覧場の用途に供する場合、客席の床面積の合計が200㎡ （屋外観覧席あつては1000㎡）以上を有するものは耐火建築物としなければならない	建築基準法第27条1項1号 建築基準法別表第3	
	防火区画 ※耐火構造の場合	面積区画	1,500㎡以内ごとに区画、スプリンクラー設備等、その他これらに類するもので自動式のものを設けた部分の床面積の1/2に相当する面積を除く	建築基準法施工令第112条1項4項	
		異種用途区画	その部分とその他の用途の部分とを、1時間準耐火基準に適合する準耐火構造とした床・壁または特定防火設備で区画	建築基準法施工令第112条12項13項	
	避難設備	廊下の幅	両側に居室がある廊下≥2.3m その他の廊下≥1.8m	建築基準法施工令第119条	
		階段（一般構造）	・階段、踊り場の幅≥120cm 蹴上げ≤20cm 路面≥24cm ・手すりは両側に設ける ・階段の上下端に接する廊下及び踊場に誘導ブロック ・踊場は高さ4m以内ごとに設ける ・直階段の踊場の路幅≥1.2m	建築基準法施工令第23条 秋田県ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ社会の形成に関する条例 秋田県ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ社会の形成に関する条例 建築基準法施工令第24条 建築基準法施工令第25条	
		直通階段の設置	歩行距離≤50m（主要構造部が準耐火構造か不燃材料で作られている場合） +避難経路を準不燃材料以上で内装した場合は60m	建築基準法施工令第120条	
		2以上の直通階段	避難階又は地上に通ずる2以上の直通階段を設ける （居室の合計面積が避難階の直上階で200㎡をその他の階で100㎡を超える 主要構造部が耐火構造の場合は面積を倍読み）	建築基準法施工令第121条1,2項	
		避難階段の設置	不要：5階以上の階	建築基準法施工令第122条1項	
		重複距離	直通階段までの重複距離≤25m	建築基準法施工令第121条3項	
		階段に代わる傾斜路（ｽﾎｰﾌﾞ）	勾配1/8	建築基準法施工令第26条	
		屋外への出入口	・避難階における階段から屋外への出口までの距離≤50m ・避難階の居室から屋外への出口までの距離≤50m×2	建築基準法施工令第125条	
		主要な出入口から道路・車椅子用駐車場への斜路	幅140cm 勾配1/12～1/20（屋外）以下	秋田県ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ社会の形成に関する条例	
		屋外ｽﾎｰﾌﾞ	幅150cm 勾配1/15以下（屋外）	ﾊｰﾄﾞﾎﾞﾙ法誘導基準	
		屋上広場、ﾊﾞﾙｺﾆｰの手摺の高さ	手摺の高さ≥1.1m	建築基準法施工令第126条	
		排煙設備	設置が必要 ※ただし体育館、階段の部分、昇降機の昇降路の部分は適用除外	建築基準法施工令第126条の二 H12国土交通省告示1436	
		非常用の照明装置	地上に通ずる廊下、階段その他の通路に設置が必要 ※ただし体育館の部分は適用除外	建築基準法施工令第126条の四1項3号 H12国土交通省告示1411	
		非常用の進入口	不要：高さ31m以下の部分で3階以上の階に設けなければならない	建築基準法施工令第126条の六	
		内装制限	観覧場の用途に供するものは建築物の構造・規模により内装制限を受ける ※ただし体育館の部分は適用除外	建築基準法第35条の2 建築基準法施工令第128条の4	
	内装制限	特殊建築物の内装制限 火気使用室の内装制限	制限無し：学校の用途に供するものは規制から除かれる 耐火建築物以外：準不燃材以上	建築基準法施工令第128条の四 建築基準法施工令第128条の四第4項	
	建築設備	エレベーター	適用：車いす対応仕様	秋田県ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ社会の形成に関する条例 第18条2項、同別表第2	
		避雷設備	適用：高さ20mを超える部分	建築基準法第33条 建築基準法施工令第129条の15	

4. 基準法チェックリスト
消防法・その他法令

関係法令	項目	規定内容	適用	適用条項	備考・事前協議
消防法 消防法施工令	防火対象物の指定	防火対象物の用途区分	(1)イ、(7)項	消防法施工令別表第1	地域開放部含む
	消防用設備等の設置単位			消防法第17条	
	消防の設備	消防用設備等の設備維持	体育館（防火対象物）は消防用設備等を設置、維持しなければならない	消防法第17条1項 消防法施工令第6、7条	
	初期消火設備	消火器具	設置：延べ面積≧150㎡	消防法第17条1項 消防法施工令第10条3項	
		屋内消火栓設備	設置：延べ面積≧500㎡	消防法施工令第11条2項	水平距離25m以下 ※基準を満たせば3倍の数値
		ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ設備	設置：延べ面積≧6000㎡以上	消防法施工令第12条、4項	
		特殊消火設備（水噴霧・泡・二酸化炭素・ﾊｳﾞｰﾝ・粉末）	不要：電気設備室、ｶﾞｰｲｰ室面積≧200㎡	消防法施工令第13～18条	電気設備室、ｶﾞｰｲｰ室面積<200㎡
		屋外消火栓設備	設置：延べ面積≧9000㎡以上（耐火建築物）	消防法施工令第19条	水平距離40m以下
		動力消防ﾊﾞｯﾁｰ設備	不要：屋内消火栓設備設置により免除	消防法施工令第20条5項	
		自動火災報知設備	設置：延べ面積≧300㎡	消防法施工令第21条3項	
	警報設備	ｶﾞｽ漏れ火災報知設備	必要	消防法施工令第21条の2 4項	
		漏電火災警報設備	設置：延べ面積≧500㎡	消防法施工令第22条	
		消防機関への通報設備	不要：電話設置により免除	消防法施工令第23条	
		非常警報設備（非常ﾊﾞｰﾙ又は自動式ｻｲﾚﾝｽ及び、放送設備）	不要：収容人数≧50人	消防法施工令第24条	
		非常放送設備	任意設置が望ましい		
		避難器具	設置：耐火構造の場合3階以上の階	消防法施工令第25条	
		誘導灯・誘導標識	不要：地階、無層窓階及び11階以上 設置：客席誘導灯	消防法施工令第26条1項1～3	
	本格消火設備	消防用水	設置：敷地面積≧20,000㎡かつ耐火建築物/延べ面積≧15,000㎡	消防法施工令第27条	
		連結散水設備	不要：地下 700㎡以上	消防法施工令第28条の二	
		連結送水管	不要：地上7階以上又は地上5階以上で延べ面積≧6,000㎡	消防法施工令第29条	
		非常用ｺﾝﾍﾞﾝﾄ設備	不要：地階を除く階数が11以上	消防法施工令第29条の二	
		無線通信補助設備	不要	消防法施工令第30条の三	

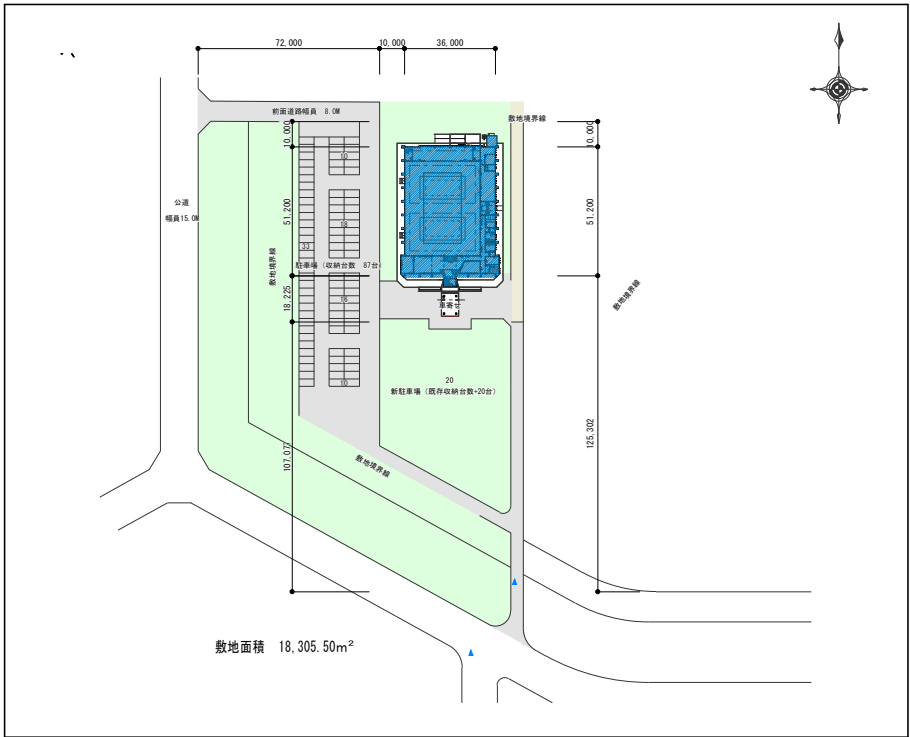
関係法令	項目	規定内容	適用	適用条項	備考
高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律「バリアフリー法」	特定建築物 - 体育館 特別特定建築物 - 体育館	バリアフリー法基準適合義務	2000㎡以上の建築（新築・増築・改築・用途変更）	バリアフリー法・令 各々の条 法1.2.14.16. 令4.5.6.9.10~23	
ビル管理法	特定建築物 - 体育館	建築物環境衛生管理基準に従って維持管理義務	観覧席を有するなど興行場に該当するもので床面積が3000㎡以上	ビル管理法・令 各々の条 法1.2.4.5 令1.2	
建築物のエネルギー消費性能向上に関する法律	特定建築物 - 体育館	建築物エネルギー消費性能基準 適合性判定適合	非住宅部分の床面積2000㎡以上	建築物省エネ法・令 各々の条 法1.2.11.12.15.19.29.30.35 令3.4.8.13	
興行場法	興行場	施設の構造設備：公衆衛生上の基準 建築基準法、消防法、ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ法、ﾋﾞﾙ管理法、省ﾏﾂ法等	スポーツなどを公衆に見せる施設（興行場）を経営するものは知事許可必要	興行場の構造設備及び衛生措置の基準等に関する条例 条5~13 観覧席に関する建築安全条例の規定（参考：東京都）	

5. 配置計画



Google mapより

敷地全景写真



現状敷地図

①配置計画の考え方

・敷地周辺状況

大潟村村民体育館は、大潟村総合中心地の北側に位置しています。

大潟村総合中心地には道路や街区に防風保安林が整備されており、強風を和らげられているだけでなく、生き物の住み処や、まちの緑としての景観面も担っています。桜の木や菜の花、スイセン等、季節の植物も多く植えられており、自然豊かな街が形成されています。村民体育館の建つ街の北側は村民野球場や、多目的運動広場、テニスコートなど、スポーツ施設が多く整備されているエリアになっています。

敷地西側にはホテルサンルーラル大潟や村営住宅があり、南側には大潟村立大潟小学校が、南東から東にかけては住宅街のエリアが広がっています。

周辺の他の建物群は、体育館の敷地から離れている為、冬場や災害時の影響は少ない場所と思われます。

主要道路は、西側に県道男鹿八竜線42号、北側に県道男鹿琴丘線54号が通っています。

・敷地状況

建物は敷地の北東に配置されています。

西から南にかけては防風保安林が整備され、住宅地とは区画されています。

敷地への出入りは南東と北西に2箇所ありますが、メインの出入口は南東側になります。

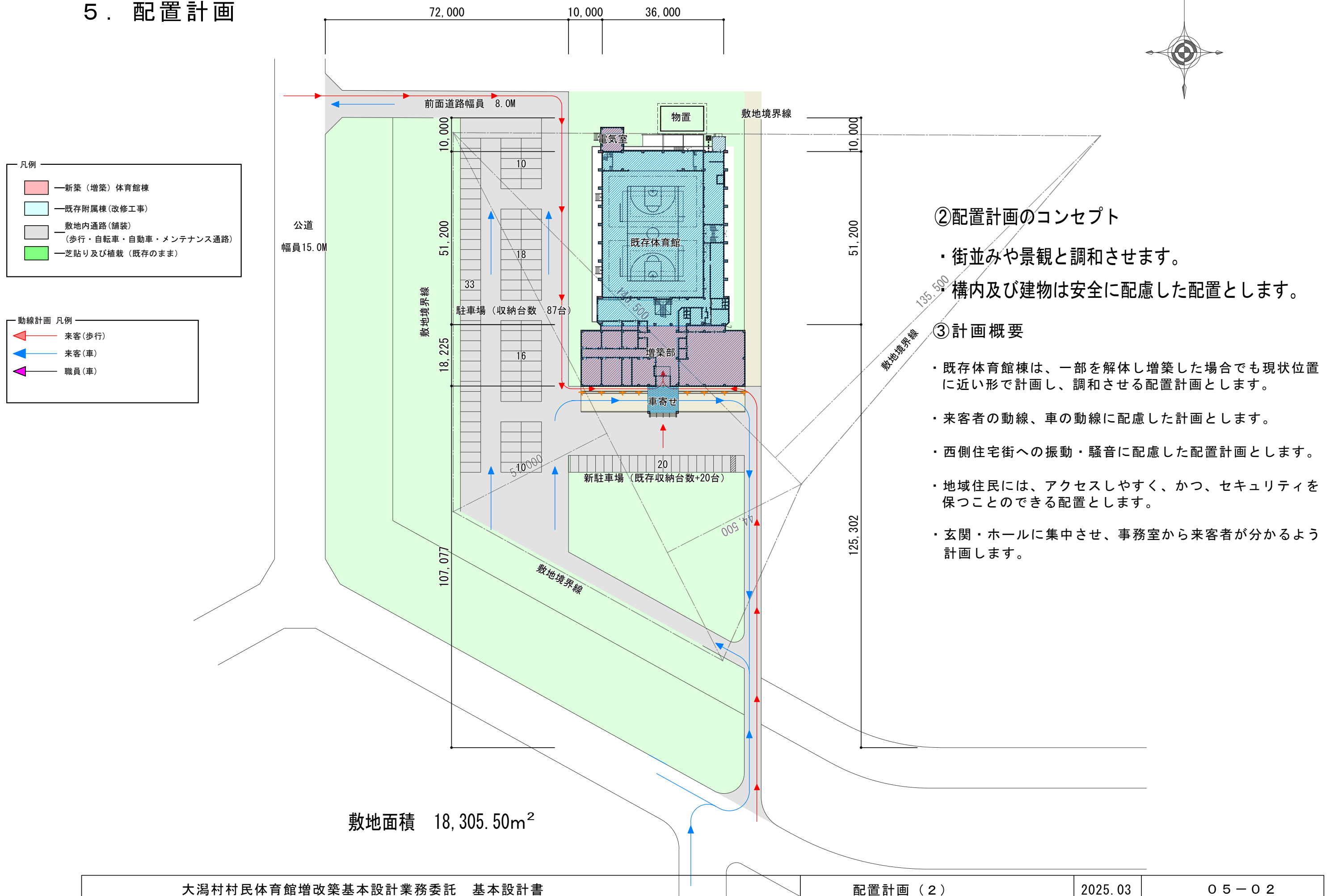
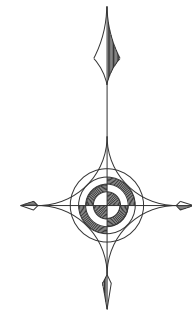
敷地西面は全面駐車場ですが、駐車スペースのラインや車止めがないため、多目的に利用が可能です。

建物正面は車寄せと芝生のスペースとなっており、敷地出入口から入ってきた時には視界がとても開けています。建物入り口が分かりやすく、敷地出入口から玄関までの動線が分かりやすいため、利用者に抵抗感を持たせない、開放的な敷地になっています。

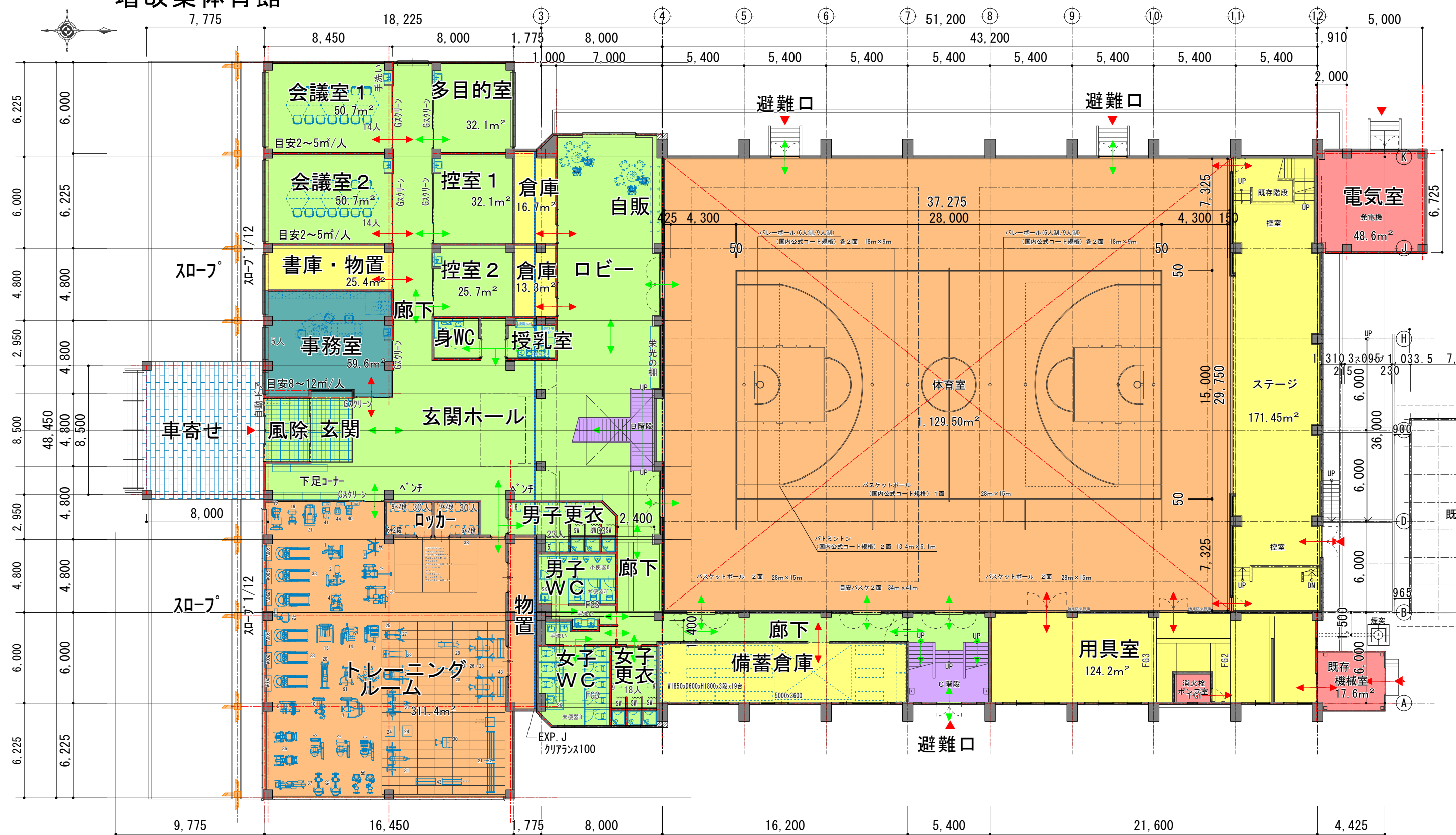
・計画上の留意事項

1. 環境衛生の基準を遵守します。（シックハウス症候群他）
2. 冬季の積雪に耐えうる施設であるとともに、除排雪のしやすさにも配慮します。
3. 人々との交流が行いやすいよう、外部からアクセスがしやすく、かつ不特定多数の人が利用しやすい、分かりやすい配置とします。
4. 地震等の災害時、地域の避難場所としての建物機能を維持し、利用者や地域住民の安全性確保できるようにします。
5. 工事影響範囲が最小限になるように計画します。

5. 配置計画

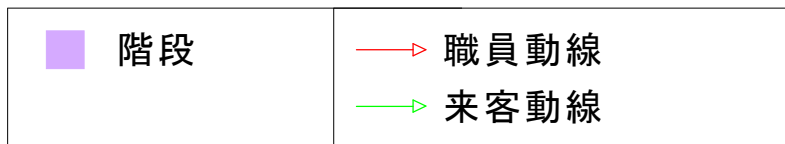


6. 平面動線計画
増改築体育館



階段	職員動線
	来客動線

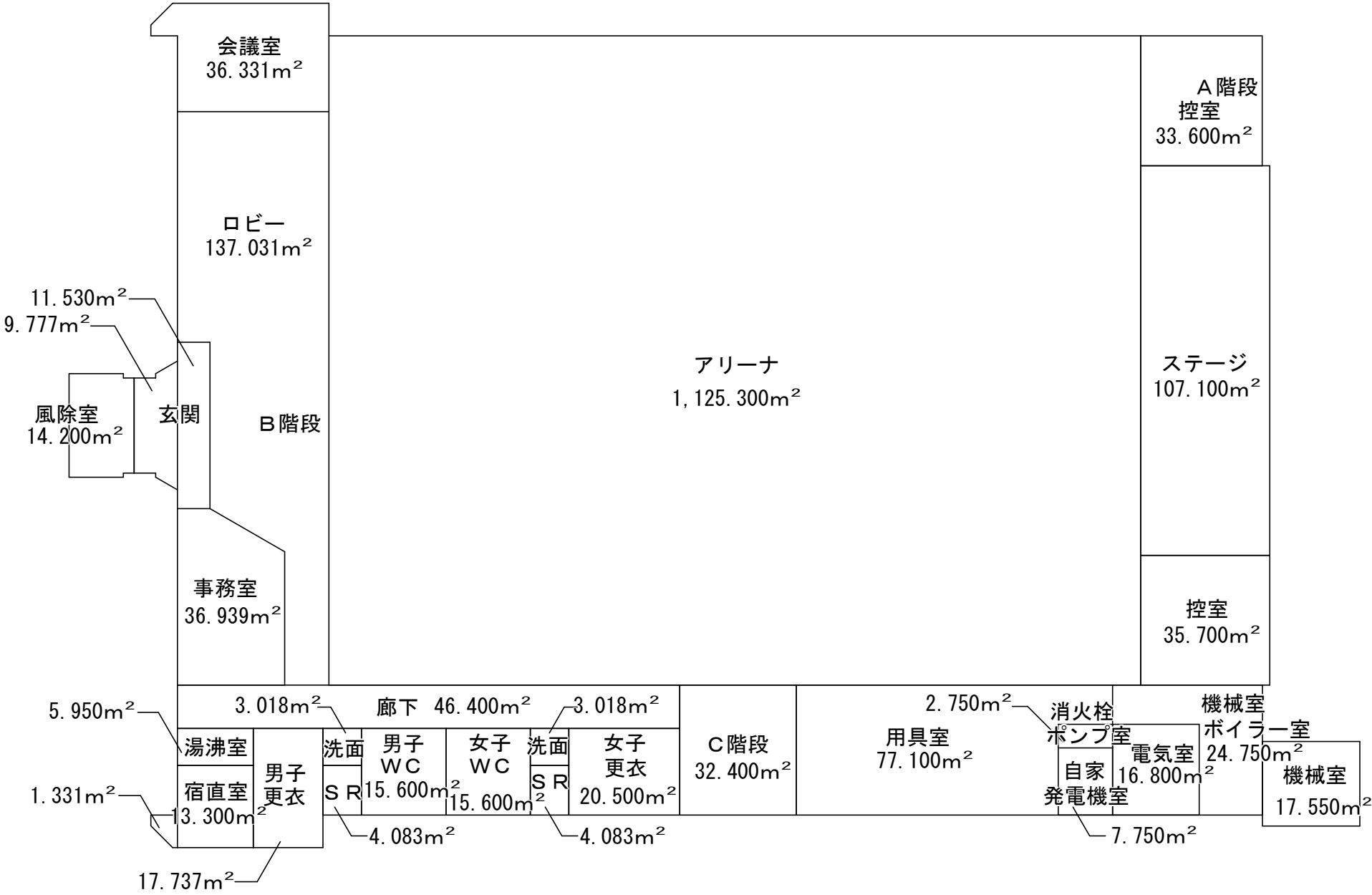
動線計画 1階平面図 S = 1 : 250



動線計画 2階平面図 S = 1 : 2 5 0

7. 平面計画

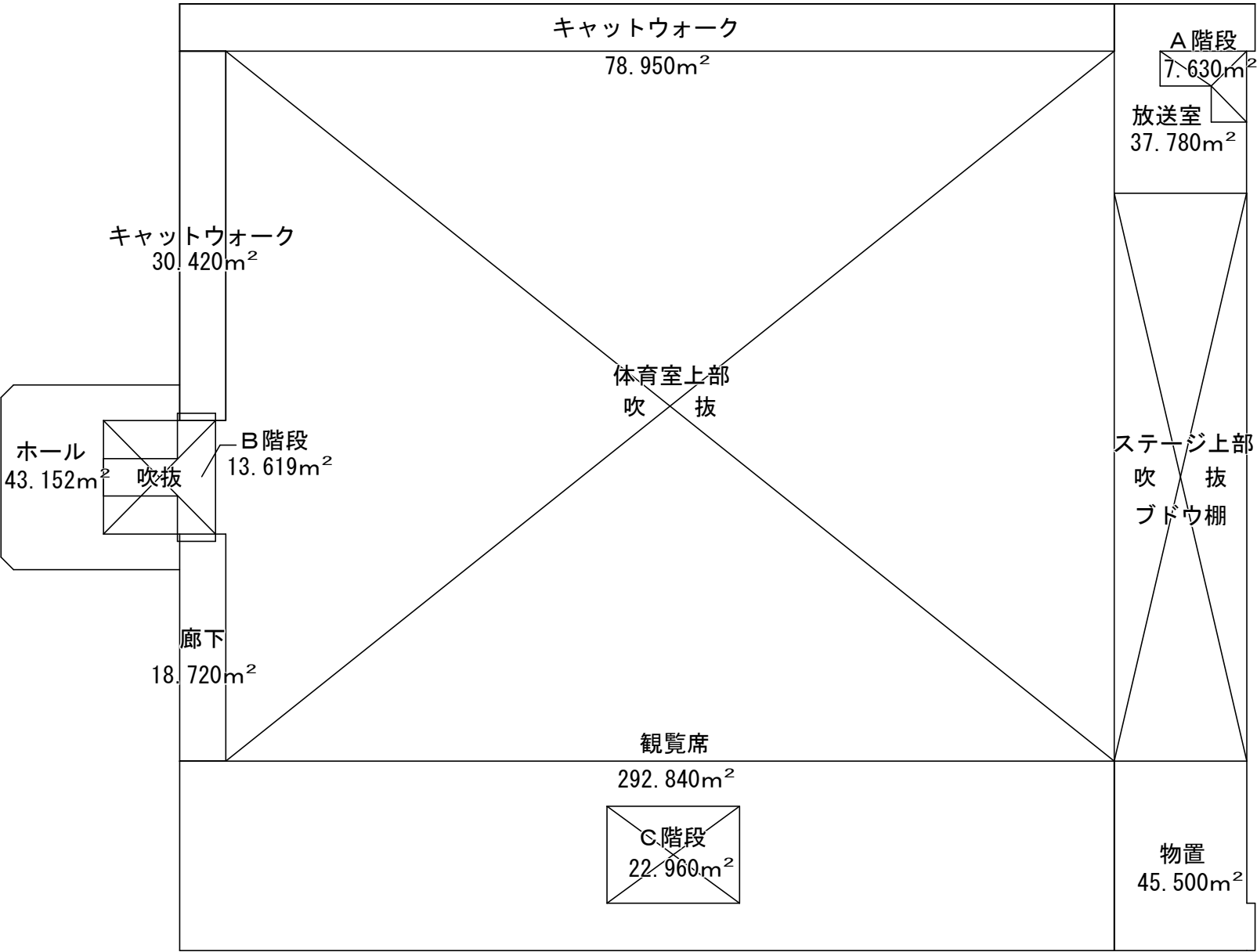
既存体育館 求積図・面積表



大潟村村民体育館 既存1階求積図 S=1:250

7. 平面計画

既存体育館 求積図・面積表



大潟村村民体育館 既存2階求積図 S=1:250

7. 平面計画

既存体育館 求積図・面積表

区分	室名	延べ床面積			備考	室名	延べ床面積			備考
		個面積	室数	面積			個面積	室数	面積	
体育館棟	風除室	14.200	1.0	14.200		階段ロビー	43.152	1.0	43.152	
	玄関	21.307	1.0	21.307		通路	18.720	1.0	18.720	
	事務室	36.939	1.0	36.939		観覧席	292.840	1.0	292.840	
	湯沸室	5.950	1.0	5.950		物置	45.500	1.0	45.500	
	宿直室	14.631	1.0	14.631		放送室	37.780	1.0	37.780	
						既存A階段	7.630	1.0	7.630	
	ロビー	137.031	1.0	137.031		既存B階段	13.619	1.0	13.619	
	会議室	36.331	1.0	36.331		既存C階段	22.960	1.0	22.960	
						キャットウォーク	109.370	1.0	109.370	
	男子更衣室	17.737	1.0	17.737						
	〃SR	4.083	1.0	4.083						
	男子WC	15.600	1.0	15.600						
	〃洗面	3.018	1.0	3.018						
	女子更衣室	20.500	1.0	20.500						
	〃SR	4.083	1.0	4.083						
	女子WC	15.600	1.0	15.600						
	〃洗面	3.018	1.0	3.018						
	廊下	46.400	1.0	46.400						
	用具室	77.100	1.0	77.100						
	消火栓ポンプ室	2.750	1.0	2.750						
	自家発電機室	7.750	1.0	7.750						
	機械室ボイラー室	24.750	1.0	24.750						
	機械室	17.600	1.0	17.600						
	電気室	16.800	1.0	16.800						
	既存C階段 段裏、通路	32.400	1.0	32.400						
	アリーナ	1125.300	1.0	1,125.300						
	ステージ	107.100	1.0	107.100						
	控室（ステージ脇）	33.600	1.0	33.600						
	控室（ステージ脇）	35.700	1.0	35.700						
	1階の計			1,877.28		2階の計			591.571	
						1階+2階の合計			2,468.85	

大潟村村民体育館増改築基本設計業務委託 基本設計書

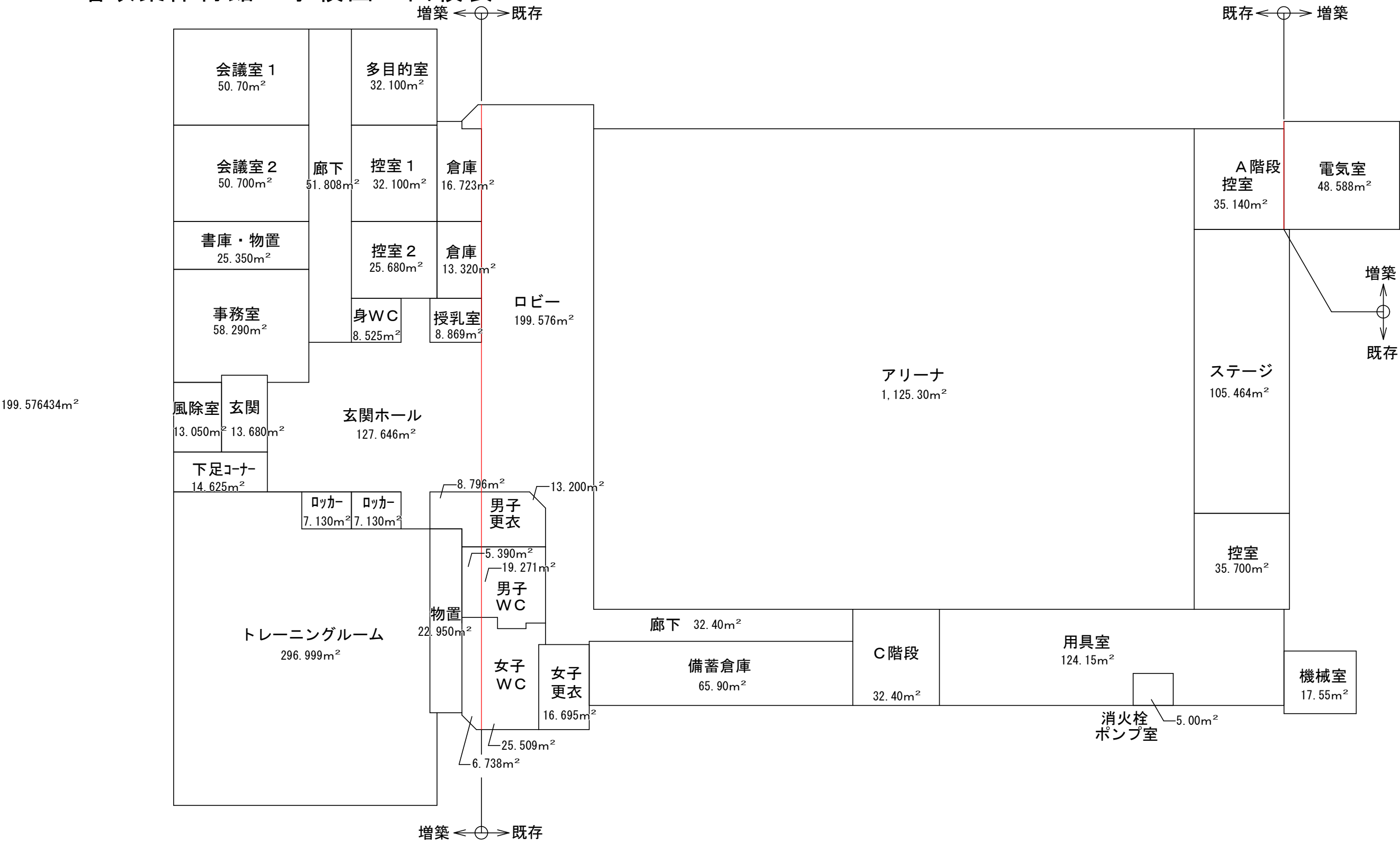
既存面積表

2025.03

07-03

7. 平面計画

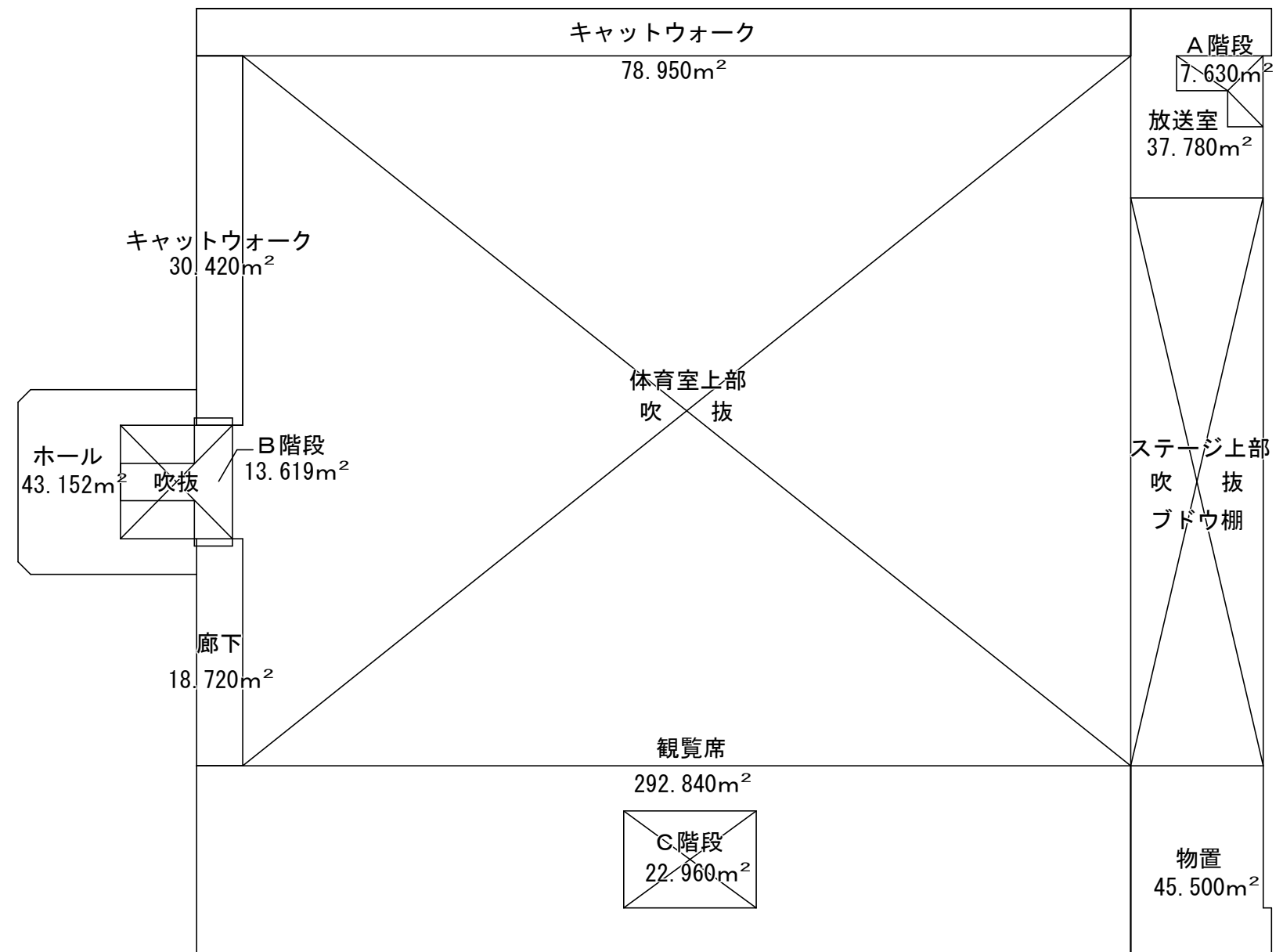
増改築体育館 求積図・面積表



大潟村村民体育館 増改築 1 階求積図 S = 1 : 2 5 0

7. 平面計画

増改築体育館 求積図・面積表



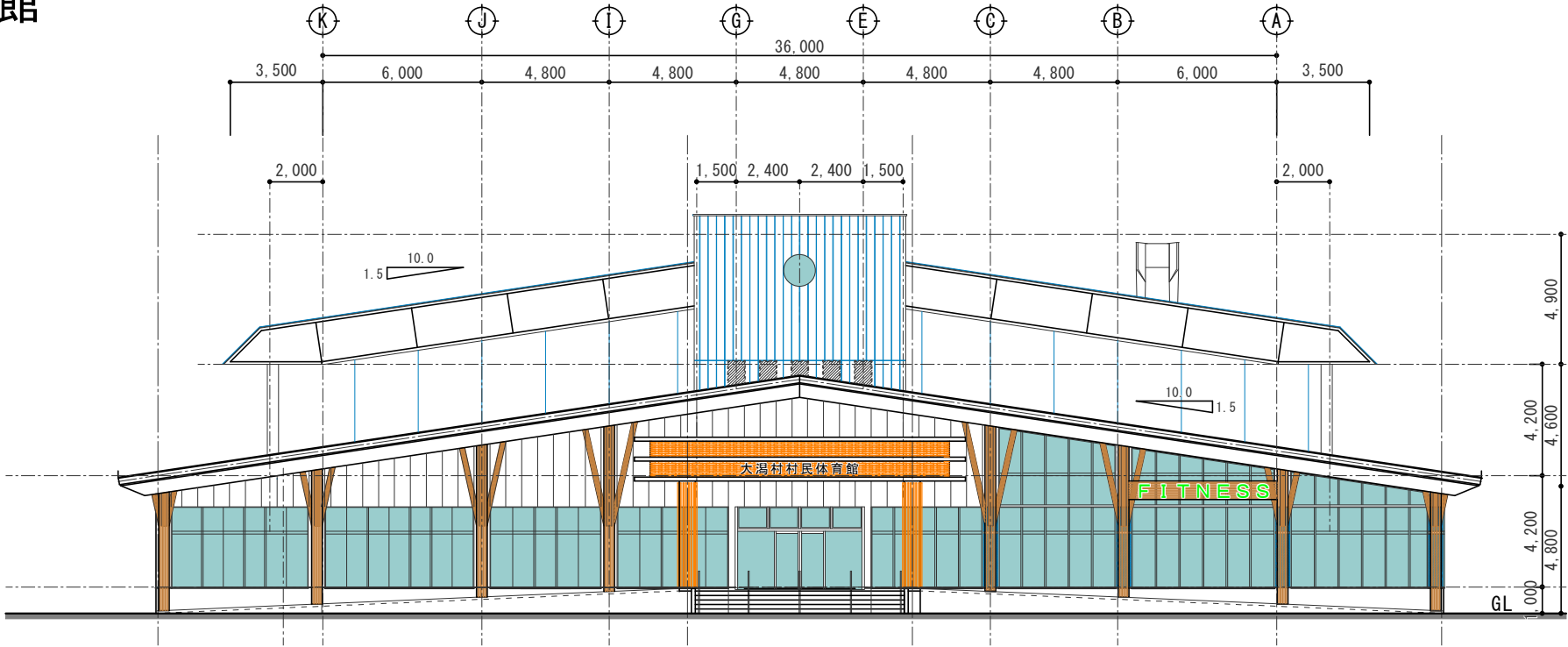
大湊村村民体育館 増改築 2階求積図 S = 1 : 250

7. 平面計画

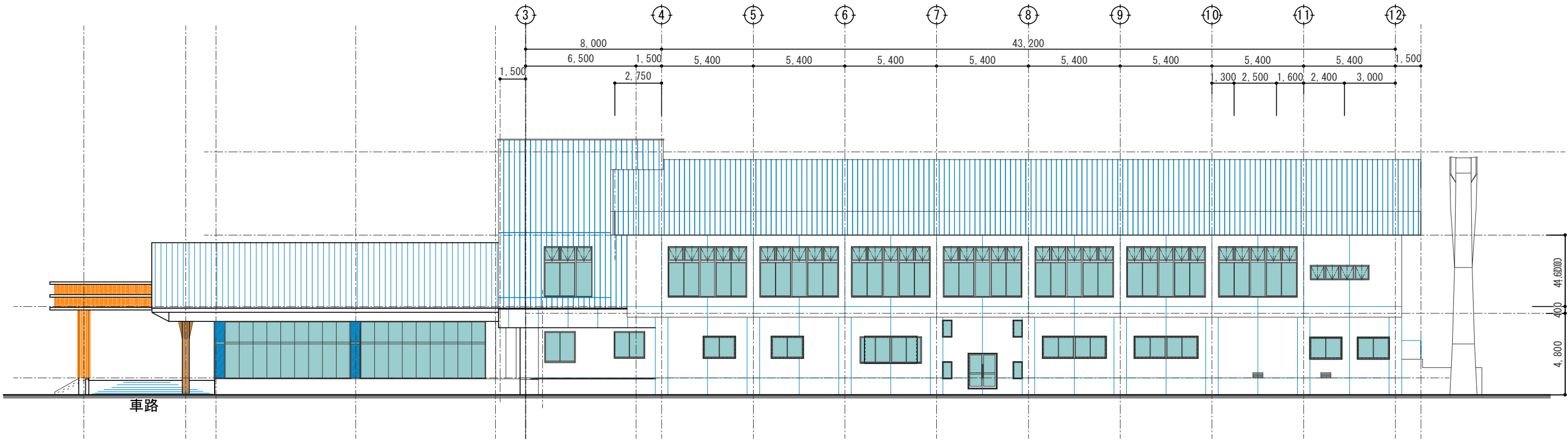
増改築体育館 求積図・面積表

区分	室名	延べ床面積			備考	室名	延べ床面積			備考
		個面積	室数	面積			個面積	室数	面積	
体育館棟	風除室	13.050	1.0	13.050		階段ロビー	43.152	1.0	43.152	
	玄関	13.680	1.0	13.680		通路	18.720	1.0	18.720	
	下足コーナー	14.625	1.0	14.625		観覧席	292.840	1.0	292.840	
	玄関ホール	127.646	1.0	127.646		物置	45.500	1.0	45.500	
	事務室	58.290	1.0	58.290		放送室	37.780	1.0	37.780	
	書庫・物置	25.350	1.0	25.350		既存A階段	7.630	1.0	7.630	
	ロビー	199.576	1.0	199.576		既存B階段	13.619	1.0	13.619	
	会議室1	50.700	1.0	50.700		既存C階段	22.960	1.0	22.960	
	会議室2	50.700	1.0	50.700		キャットウォーク	109.370	1.0	109.370	
	多目的室	32.100	1.0	32.100						
	控室1	32.100	1.0	32.100						
	控室2	25.680	1.0	25.680						
	トレーニングルーム	296.999	1.0	296.999						
	ロッカー	7.130	2.0	14.260						
	物置（トレイ内）	22.950	1.0	22.950						
	倉庫1	16.723	1.0	16.723						
	倉庫2	13.320	1.0	13.320						
	男子更衣室	21.996	1.0	21.996						
	女子更衣室	16.695	1.0	16.695						
	男子WC	24.661	1.0	24.661						
	女子WC	32.247	1.0	32.247						
	身障者WC	8.525	1.0	8.525						
	授乳室	8.869	1.0	8.869						
	備蓄倉庫	65.900	1.0	65.900						
	廊下	84.208	1.0	84.208						
	用具室	124.150	1.0	124.150						
	消火栓ポンプ室	5.000	1.0	5.000						
	機械室	17.550	1.0	17.550						
	電気室	48.588	1.0	48.588						
	既存C階段 段裏、通路	32.400	1.0	32.400						
	アリーナ	1125.300	1.0	1,125.300						
	ステージ	105.464	1.0	105.464						
	控室（ステージ脇）	35.140	1.0	35.140						
	控室（ステージ脇）	35.700	1.0	35.700						
	1階の計			2,800.14		2階の計			591.571	（増築面積）
						1階+2階の合計			3,391.71	922.86
大潟村村民体育館増改築基本設計業務委託 基本設計書						既存面積表			2025.03	07-06

8. 立面計画
新体育館



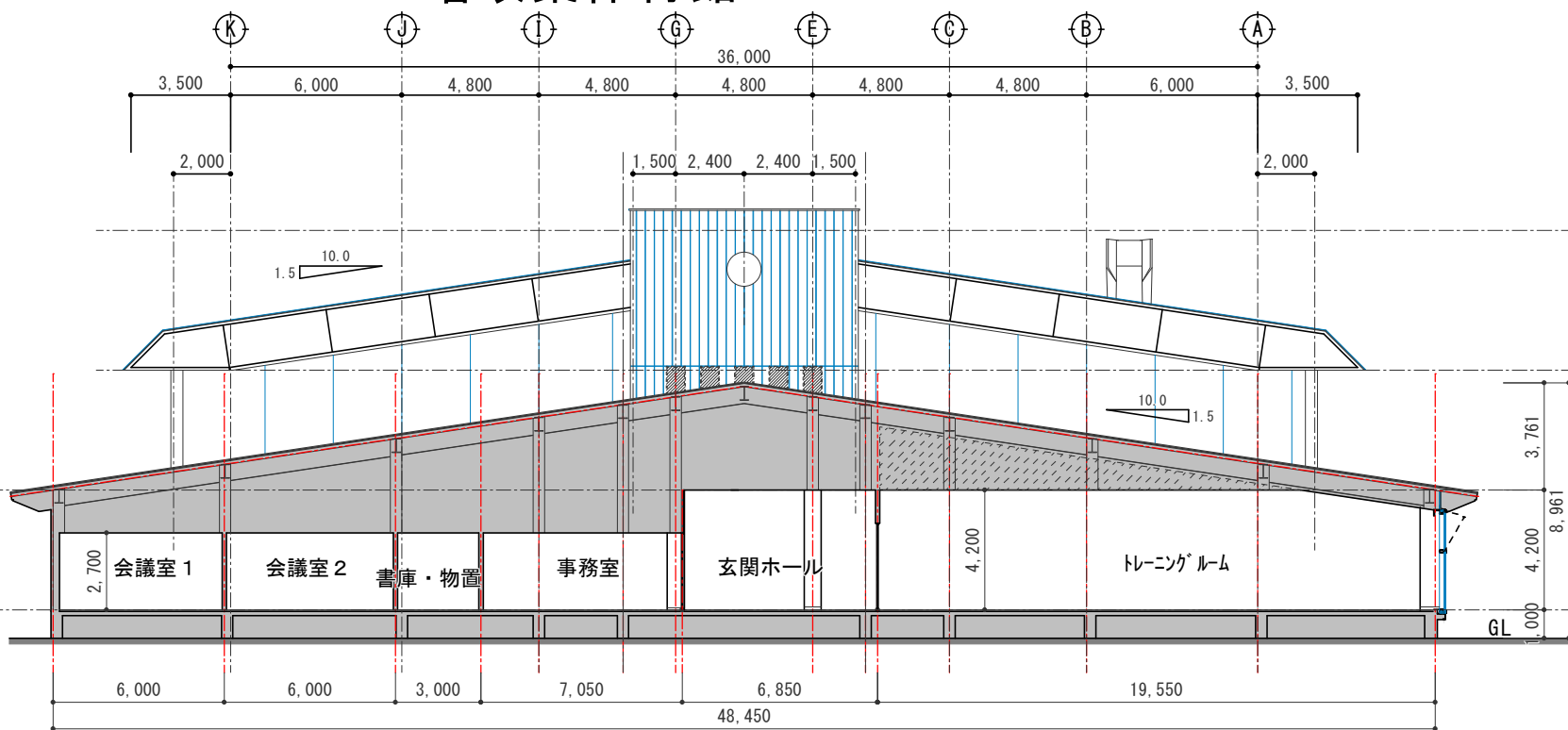
南側立面図 S=1:250



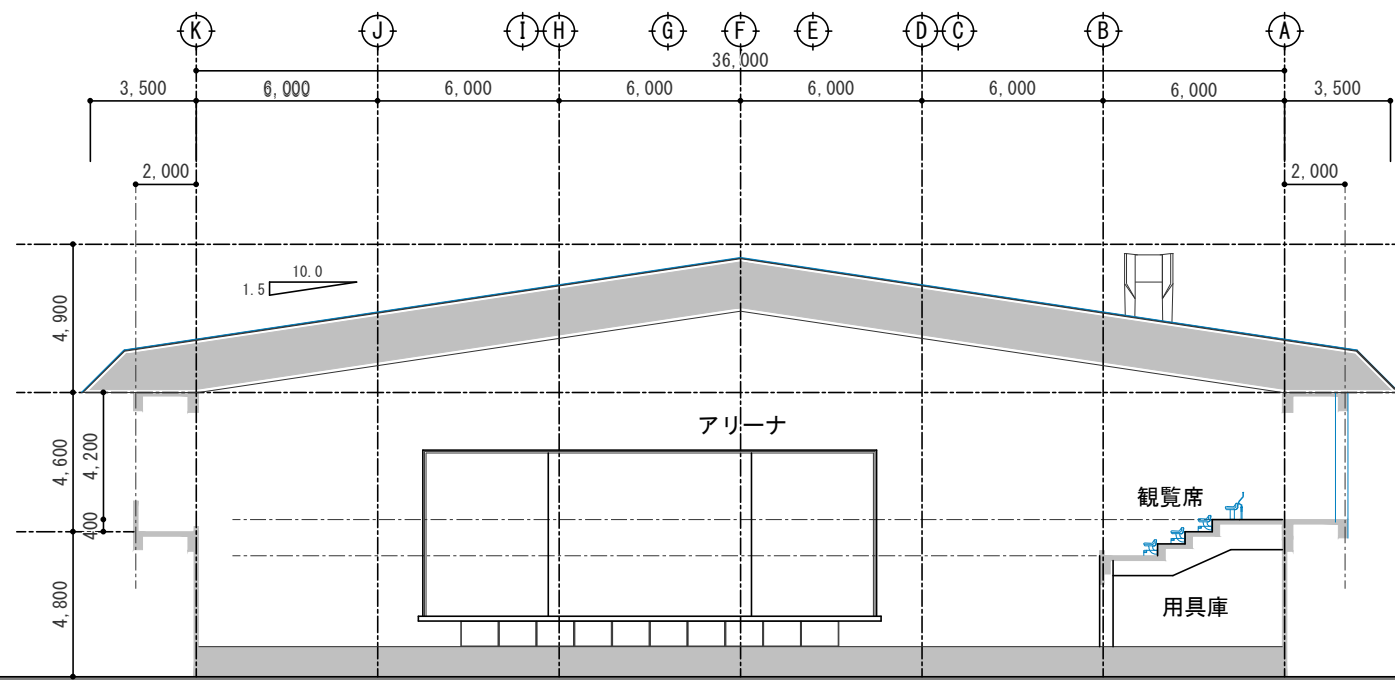
東側立面図 S=1:250

9. 断面計画

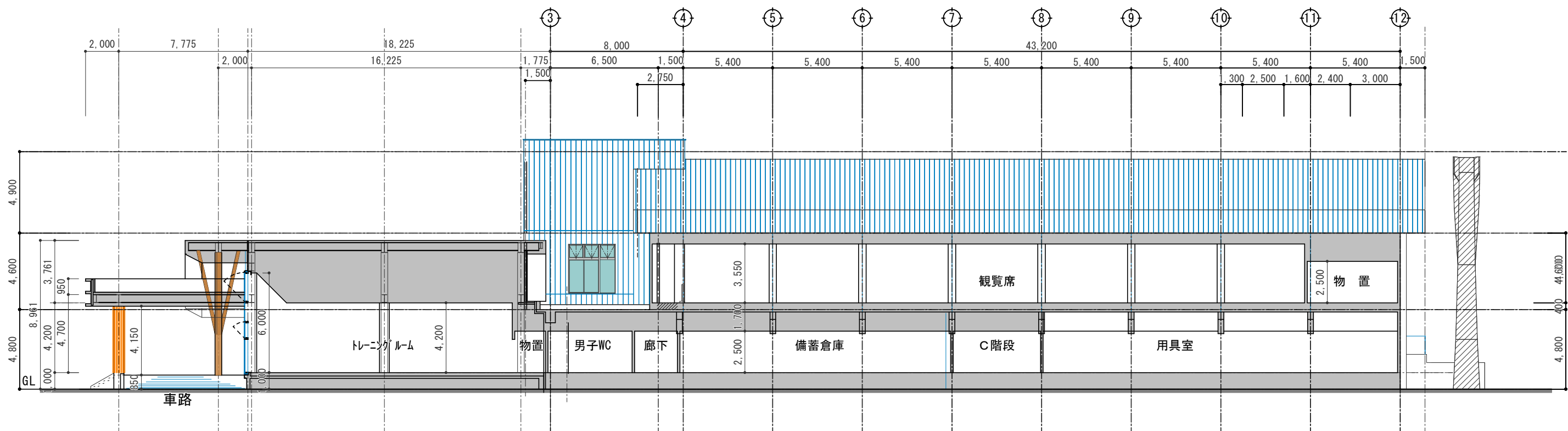
増改築体育館



X方向断面図① S=1:250



X方向断面図② S=1:250



Y方向断面図 S=1:250

10. 外部・内部仕上表

【外部仕上表】大潟村村民体育館（増築）

防水	仕上	塩ビ系シート防水（断熱工法） 断熱 硬質ウレタンフォームボード t 50+QLデッキ	開口部	アルミサッシ（複層ガラス） 鋼製ドア
屋根	仕上	SGL 鋼板 t 0.4 瓦棒葺き角型キャップ仕様 断熱硬質ウレタンフォームボード t 50、アスファルトルーフィング 940、硬質木毛セメント板 t 25	根回り	打放しコンクリート補修 DP 塗装
外壁	仕上	押し出し成型板アスロックフラット t 60 カラーフロン親水性フッ素樹脂塗料仕上	金物	笠木：アルミシルバー EXP.J：アルミ（シルバー）、丸環、オーバーフロー管 φ 50
	断熱	外壁面 断熱吹付 硬質ウレタンフォーム t 30 外壁耐火仕様 アスロック t 60	車寄せ	床：タイルブロック耐荷重対応型、スロープ：はけ引きコンクリート舗装 天井ケイカル板 t 6EP 塗装、階段SUS手摺
耐火	柱	吹付ロックウール被覆耐火構造 柱 t 25	歩廊	床：コンクリート金ゴテ押え下地 水性無機質系塗料塗
	梁	吹付ロックウール被覆耐火構造 梁 t 25		
軒天	仕上	木目調化粧ケイカル板 t 14	化粧柱	ハイブリッド材（鉄骨+集成材）

【内部仕上表 1】大潟村村民体育館（増築）

棟		室名	天井高	床	巾木	壁	天井	廻縁	備考
大潟村村民体育館	1階	風除室	2,700	磁器質タイル300 [□] 下地モルタル	磁器質タイル H100	ジョリパット塗り 化粧板ウェッジプレス不燃 耐水石膏ボード t 12.5 EP	吸音化粧石膏ボード t 9.5 スクエアトンドプラス 下地LGS	塩ビ製	
		玄関	2,700 ～ 4,200	磁器質タイル300 [□] 下地モルタル メラミンタイル t 3	ビニル巾木 H60	シナ合板張り t 5.50SCL H=2.0 強化石膏ボード t 12.5+石膏ボード t 9.5 EP	吸音化粧石膏ボード t 9.5 スクエアトンドプラス 下地LGS	塩ビ製	受付カウンター
		玄関ホール ロビー 下足コーナー	2,700 ～ 4,200	メラミンタイル t 3 コンクリート金ゴテ押さえ	ビニル巾木 H60	シナ合板張り t 5.50SCL H=2.0 強化石膏ボード t 12.5+石膏ボード t 9.5 EP	吸音化粧石膏ボード t 9.5 スクエアトンドプラス 下地LGS	塩ビ製	下足棚 ベンチ
		トレーニングルーム	3,500 ～ 4,200	多目的弾性シート t 6 コンクリート金ゴテ押さえ	ビニル巾木 H60	石膏ボード t 12.5+耐水石膏ボード t 9.5 EP 木製30x60@100化粧貼リオスモカラー 上部GCボード t 50 32kg品	吸音化粧石膏ボード t 9.5 スクエアトンドプラス 下地LGS	塩ビ製	
		事務室	2,700	タイルカーペット t 6.5 OAフロア t 50 コンクリート金ゴテ押さえ	ビニル巾木 H60	ビニルクロス貼り 強化石膏ボード t 12.5+石膏ボード t 9.5	吸音化粧石膏ボード t 9.5 スクエアトンドプラス 下地LGS	塩ビ製	手洗い、掃除用具入れ、木製ロッカー コート掛け、カーテンレール
		会議室 1・2 多目的室 控室 1・2	2,700	メラミンタイル t 3 コンクリート金ゴテ押さえ		ビニルクロス貼り 強化石膏ボード t 12.5+石膏ボード t 9.5	吸音化粧石膏ボード t 9.5 スクエアトンドプラス 下地LGS	塩ビ製	
		倉庫	2,700	ビニル床シート t 2 コンクリート金ゴテ押さえ	ビニル巾木 H60	強化石膏ボード t 12.5+石膏ボード t 9.5 EP	化粧石膏ボード t 9.5	塩ビ製	
		授乳室	2,500	メラミンタイル t 3 コンクリート金ゴテ押さえ	ビニル巾木 H60	ビニルクロス貼り 強化石膏ボード t 12.5+石膏ボード t 9.5	化粧石膏ボード t 9.5	塩ビ製	
		身WC	2,500	抗菌ビニル床シート t 2.5 コンクリート金ゴテ押さえ	ビニル巾木 H60	メラミン不燃化粧板セラミックPlus t 3 強化石膏ボード t 12.5+石膏ボード t 9.5	化粧石膏ボード t 9.5	塩ビ製	

10. 外部・内部仕上表

【内部仕上表2】大潟村村民体育館(増築)

棟		室 名	天 井 高	床	巾 木	壁	天 井	廻 縁	備 考
大潟村村民体育館	1 階	男子WC 女子WC	2,500	抗菌ビニル床シート t2.5 コンクリート金ゴテ押さえ 汚垂石（男子）	ビニル巾木 H60	メラミン不燃化粧板セラミックタイルt3 強化石膏ボード t12.5+石膏ボード t9.5	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	トイレース
		男子更衣室 女子更衣室	2,500	抗菌ビニル床シート t2.5 コンクリート金ゴテ押さえ	ビニル巾木 H60	メラミン不燃化粧板セラミックタイルt3 強化石膏ボード t12.5+石膏ボード t9.5	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	
		備蓄倉庫	2,700	ビニル床シート t2 コンクリート金ゴテ押さえ	ビニル巾木 H60	強化石膏ボード t12.5+石膏ボード t9.5 EP	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	
		廊下	2,700	メラミンタイル t3 コンクリート金ゴテ押さえ	ビニル巾木 H60	シナ合板張りt5.5OSCL H=2.0 強化石膏ボード t12.5+石膏ボード t9.5 EP	吸音化粧石膏ボード t9.5スクエアボードプラス 下地LGS	塩ビ製	
		用具庫	2,700	ビニル床シート t2 コンクリート金ゴテ押さえ	ビニル巾木 H60	強化石膏ボード t12.5+石膏ボード t9.5 EP	化粧石膏ボード t9.5	塩ビ製	
		電気室	スラブ下	コンクリート金ゴテ押さえ、目地切	コンクリート打放し	ケイ酸カルシウム板 t6 EP 下地LGS	ケイ酸カルシウム板 t6 EP 下地LGS	塩ビ製	

1 0 . 外部・内部仕上表

【外部仕上表】 大湊村村民体育館(既存改修)

アリーナ屋根 (金属屋根)	既存瓦棒葺きカラーフッ素鋼板 t0.4 カバー工法 高圧水洗浄、防錆処理の上、高弾性厚膜アクリルゴム系防水・防塵塗装 (10年保証、15年以上耐久性確認済み) 破風・鼻隠し・雨押え屋根同質材改修	外 壁	既存弾性吹付タイル 高圧水洗浄、微弾性フィーラー吹付タイルの上 トップコート吹付塗装 既存塗料剥ぎ取りなし
ロビー陸屋根 (シート防水)	既存シート防水、高圧水洗浄の上 平場既存防水層剥離防止用ディスク固定の上下地活性剤塗布 新規シート防水 t 2.0 (絶縁工法)		

既存埋込みインサート再利用
：引張試験400N程度の確認

【内部仕上表 1】 大湊村村民体育館(既存改修)

棟		室 名		天井高	床	巾木	壁	天井	廻 縁	備 考
大湊村村民体育館	1 階	既存	風除室	2,700	磁器質タイル100角 タイル下地モルタル 解体撤去	磁器質タイル H100	コンクリート打放し、弾性吹付タイル サッシ囲い 解体撤去	アルミスパンドレルt0.6 解体撤去		
		改修					躯体 現状のまま			傘立て撤去
		既存	玄関、ホール、ロビー ↓	2,700	クッションフロア-t2剥ぎ取り 剥ぎ取り撤去	ソフト巾木 H100 解体撤去	コンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	下地ジョイント石膏ボード t9、壁紙貼り 下地LGS 解体撤去		
		改修	ロビー 新設	2,700	下地調整補修の上 ビニル床シートt2	ビニル巾木 H60	LGS65、石膏ボード t12.5、ビニルクロス貼り	吸音化粧石膏ボード t9.5 スクエアトンDプラス 下地LGS	塩ビ製	手洗い、掃除用具入れ、木製ロッカー
		既存	事務室 ↓	2,700	東リ マチVタイルt2 剥ぎ取り撤去	ソフト巾木 H100 解体撤去	下地ジョイント石膏ボード t9、壁紙貼り 解体撤去	下地ジョイント石膏ボード t9、壁紙貼り 下地LGS 解体撤去	木製撤去	
		改修	男子更衣室 新設	2,500	下地調整補修の上 抗菌ビニル床シート t 2.5 汚垂石	ビニル巾木 H60	LGS65、石膏ボード t12.5 メラミン不燃化粧板セラミックテクトPlus t 3	吸音化粧石膏ボード t9.5 スクエアトンDプラス 下地LGS	塩ビ製	手洗い 既製品ロッカー(別途)
			男子WC 新設	2,500	下地調整補修の上 抗菌ビニル床シート t 2.5	ビニル巾木 H60	LGS65、石膏ボード t12.5 メラミン不燃化粧板セラミックテクトPlus t 3	吸音化粧石膏ボード t9.5 スクエアトンDプラス 下地LGS	塩ビ製	洗面カウンター、鏡、
		既存	会議室 ↓	2,700	東リ マチVタイルt2 剥ぎ取り撤去	ソフト巾木 H100 解体撤去	コンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	下地ジョイント石膏ボード t9、壁紙貼り 下地LGS 解体撤去		
		改修	ロビー 新設	2,700	下地調整補修の上 ビニル床シートt2	ビニル巾木 H60	LGS65、石膏ボード t12.5、ビニルクロス貼り	吸音化粧石膏ボード t9.5 スクエアトンDプラス 下地LGS	塩ビ製	手洗い
		既存	湯沸室	2,700	クッションフロア-t2 剥ぎ取り撤去	木製 H100 解体撤去	コンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	フレキシブルボード t 5弾性吹付タイル 下地LGS 解体撤去		流し台撤去
			宿直室	2,400	タタミ敷 t 51 ころばし床組 解体撤去	H100 解体撤去	コンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	下地ジョイント石膏ボード t9、壁紙貼り 下地LGS 解体撤去		
			男子更衣室 ↓	2,400	クッションフロア-t2 剥ぎ取り撤去	木製 H100 解体撤去	コンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	ジブトーン t 9 下地ラスボード t 7 解体撤去		
		改修	女子更衣室 新設	2,500	下地調整補修の上 抗菌ビニル床シート t 2.5	ビニル巾木 H60	LGS65、石膏ボード t12.5、ビニルクロス貼り メラミン不燃化粧板セラミックテクトPlus t 3	吸音化粧石膏ボード t9.5 スクエアトンDプラス 下地LGS	塩ビ製	手洗い 既製品ロッカー(別途)
			女子WC 新設	2,500	下地調整補修の上 抗菌ビニル床シート t 2.5	ビニル巾木 H60	LGS65、石膏ボード t12.5 メラミン不燃化粧板セラミックテクトPlus t 3	吸音化粧石膏ボード t9.5 スクエアトンDプラス 下地LGS	塩ビ製	洗面カウンター、鏡

10. 外部・内部仕上表

【内部仕上表2】 大潟村村民体育館(既存改修)

棟		室名	天井高	床	巾木	壁	天井	廻縁	備考
大潟村村民体育館	1階	既存	WC	モザイクタイルφ19 下地モルタル 解体撤去	弾性吹付タイル H100 解体撤去	コンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	フレキシブルボード t5 アクリリシ吹付 下地LGS 解体撤去		
			シャワー室	モザイクタイルφ19 下地モルタル 解体撤去	弾性吹付タイル H100 解体撤去	コンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	フレキシブルボード t5 アクリリシ吹付 下地LGS 解体撤去		
			女子更衣室 ↓	クッションフロア t2 剥ぎ取り撤去	木製 H100 解体撤去	コンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	ジブトーン t9 下地ラスボード t7 LGS 解体撤去		
	改修	既存	備蓄倉庫	下地調整補修の上 ビニル床シート t2	ビニル巾木 H60	石膏ボード t12.5 下地 LGS ケイ酸カルシウム板 t6 EP 目地シーリング・防湿シート下張り	ケイ酸カルシウム板 t6 EP 下地LGS 目地シーリング・防湿シート下張り	塩ビ製	
			用具室	東リ マチコタイル t2 剥ぎ取り撤去	コンクリート打放し H100	コンクリート打放し	コンクリート打放し		
			機械室ボイラー室	コンクリート金ゴテ押え、目地切	コンクリート打放し H100	コンクリート打放し	コンクリート打放し		
			電気室	コンクリート金ゴテ押え、目地切	コンクリート打放し H100	コンクリート打放し	コンクリート打放し		
			消火栓ポンプ室	コンクリート金ゴテ押え、目地切	コンクリート打放し H100	コンクリート打放し	コンクリート打放し		
		改修	自家発電機室 ↓	コンクリート金ゴテ押え、目地切	コンクリート打放し H100	コンクリート打放し	コンクリート打放し		
			用具庫	下地調整補修の上 ビニル床シート t2	ビニル巾木 H60	石膏ボード t12.5 下地 LGS ケイ酸カルシウム板 t6 EP	ケイ酸カルシウム板 t6 EP 下地LGS	塩ビ製	
			(一部) 消火栓ポンプ室	コンクリート金ゴテ押え、目地切 既存のまま	コンクリート打放し H100	コンクリート打放し ケイ酸カルシウム板 t6 EP 下地LGS	ケイ酸カルシウム板 t6 EP 下地LGS	塩ビ製	
		既存	既存機械室増築部	既存のまま	コンクリート金ゴテ押え、目地切 既存のまま	ケイ酸カルシウム板 t6 EP 下地LGS 既存のまま	ケイ酸カルシウム板 t6 EP 下地LGS 既存のまま	塩ビ製	
		既存	体育館 ↓	プライフローリング t15 下地コンパネ t12 鋼製床 解体撤去	木製 H100	リブ付きコンクリート打放し、弾性吹付タイル 一部軽鉄格子（有孔板下地）	鉄骨トラス表し		
		改修	体育館	大型積層フローリング カバ t18 ポリウレタン塗装（3回塗） システム鋼製床下地	下地処理 SOP	下地処理の上、塗装替え	既存のまま		
		既存	ステージ ↓	プライフローリング t15 下地コンパネ t12 鋼製床	木製 H100	下地ジョイント石膏ボード t9、壁紙貼り 壁紙表層剥ぎ取り	鉄骨トラス表し ブドウ棚表し		
		改修	ステージ	既存フローリング サンドー掛けの上 ポリウレタン塗装（3回塗）	下地処理 SOP	下地処理の上、ビニールクロス貼り	既存のまま		
		既存	控室 ↓	東リ マチコタイル t2 剥ぎ取り撤去	木製 H100	下地ジョイント石膏ボード t9、壁紙貼り 壁紙表層剥ぎ取り	下地ジョイント石膏ボード t9、壁紙貼り 壁紙表層剥ぎ取り		
		改修	控室	下地処理の上、長尺塩ビシート t2 貼り	下地処理 SOP	下地処理の上、ビニールクロス貼り	下地処理の上、ビニールクロス貼り		

10. 外部・内部仕上表

【内部仕上表3】 大湊村村民体育館(既存改修)

棟		室 名		天井高	床	巾木	壁	天井	廻縁	備考
大湊村村民体育館	1階	既存	廊下	2,500	クッションフロア-t2 剥ぎ取り撤去	ソフト巾木 H100解体撤去	リブ付きコンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	下地ジョイント石膏ボード-t9、壁紙貼り 解体撤去		
		改修	廊下	2,500	下地調整補修の上 ビニル床シート-t2	ビニル巾木 H60	シナ合板張り-t5.50SCL H=2.0 強化石膏ボード-t12.5+石膏ボード-t9.5 EP	吸音化粧石膏ボード-t9.5 スクエアトーンプラス 下地LGS	塩ビ製	
		既存	階段A		クッションフロア-t2 剥ぎ取り撤去	ソフト巾木 H100解体撤去	コンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	合板型枠 コンクリート打放し、現状のまま アクリルリシン吹付		
		改修	階段A		下地調整補修の上 ビニル床シート-t2、ノンスリップ	ビニル巾木 ササラ巾木	ハク清掃の上、微弾性フィラー吹付の上 トップコート吹付	ハク清掃の上、微弾性フィラー吹付の上 トップコート吹付		
		既存	階段B		クッションフロア-t2 剥ぎ取り撤去	ソフト巾木 H100解体撤去	コンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	合板型枠 コンクリート打放し、現状のまま アクリルリシン吹付		
		改修	階段B		下地調整補修の上 ビニル床シート-t2、ノンスリップ	ビニル巾木 ササラ巾木	ハク清掃の上、微弾性フィラー吹付の上 トップコート吹付	ハク清掃の上、微弾性フィラー吹付の上 トップコート吹付		樹脂製手摺φ34
		既存	階段C		クッションフロア-t2 剥ぎ取り撤去	ソフト巾木 H100解体撤去	コンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	合板型枠 コンクリート打放し、現状のまま アクリルリシン吹付		
		改修	階段C		下地調整補修の上 ビニル床シート-t2、ノンスリップタイル	ビニル巾木 ササラ巾木	ハク清掃の上、微弾性フィラー吹付の上 トップコート吹付	ハク清掃の上、微弾性フィラー吹付の上 トップコート吹付		樹脂製手摺φ34
	2階	既存	ホール	3,000	クッションフロア-t2 剥ぎ取り撤去	ソフト巾木 H100解体撤去	コンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	下地ジョイント石膏ボード-t9、壁紙貼り 壁紙表層剥ぎ取り		
		改修	ホール	3,000	下地調整補修の上 ビニル床シート-t2、ノンスリップタイル	ビニル巾木 H60	ハク清掃の上、微弾性フィラー吹付の上 トップコート吹付	下地処理の上、ビニールクロス貼り		
		既存	観覧席	3,000	東リ マチコVタイル-t2 剥ぎ取り撤去	木製 H130	コンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	合板型枠 コンクリート打放し、アクリルリシン吹付		
		改修	観覧席	3,000	下地調整補修の上 ビニル床シート-t2	下地処理 SOP	ハク清掃の上、微弾性フィラー吹付の上 トップコート吹付	ハク清掃の上、微弾性フィラー吹付の上 トップコート吹付		観覧席取替え
		既存	放送室	2,900	カーペット貼り	木製	ポーオンライトAG-15	ジブトーン-t9 下地ラスボード-t7 LGS	木製	
		改修	放送室	2,900	既存のまま	既存のまま	下地処理の上 塗装替え	既存のまま	塩ビ製	
		既存	窓ふき台		東リ マチコVタイル-t2 剥ぎ取り撤去	木製 H130	コンクリート打放し、弾性吹付タイル 現状のまま	ー		
		改修	キャットウォーク		下地調整補修の上 ビニル床シート-t2	下地処理 SOP	ハク清掃の上、微弾性フィラー吹付の上 トップコート吹付	ー		
		既存	物置		コンクリート金ゴテ押え、目地切		コンクリート打放し、弾性吹付タイル	合板型枠 コンクリート打放し、アクリルリシン吹付		
		改修	物置		既存のまま		既存のまま	既存のまま		

1 1 . 工 程 表

業 務 名				大湊村村民体育館増改築工事												工期スケジュール											
工 期		R 7 年 6 月 1 日 ～ R 8 年 3 月 3 0 日 約 1 0 ヶ月				構 造		既存建物		鉄筋コンクリート造 屋根鉄骨トラス造				増築建物		鉄骨造											
						仕 様				耐火建築物						耐火建築物											
						階 数				2 階建て						平家建て											
										P H C 杭						P H C 杭											
工 種		令和 7 年 (2025 年)												令和 8 年 (2025 年)													
		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		1 0 月		1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		4 月			

1 2 . 環 境 配 慮

- (1) 環境負荷の低減を目指した設計。
- (2) 環境負荷の低減を図る運営・維持管理が可能な建物。
- (3) 人が多く集まる場では、シックハウス対策を特に考慮する。

- (1) 環境負荷の低減を目指した設計
県産材やリサイクル可能な材料を積極的に取り入れ、工事廃材や解体廃材の減量化を図り、環境に与える負荷軽減につながる建築物にする。

◆ 秋田県認定リサイクル製品を活用し、循環型社会に努めます。

【認定リサイクル品】

- ・ 舗 装：木質系舗装材
- ・ 舗 装：再生有機系建材
- ・ デッキ：再生複合材
- ・ 木 材：加圧処理木材
- ・ 内 装：フローリング
- ・ 路 床：既存建物 R C 砕石
- ・ 路 床：ガラス発泡軽量資材（スパーソル）
- ・ 集成材：間拔材を利用



既存建物 R C 砕石

【敷地の緑化】

路面温度上昇抑制するため緑地帯面積を大きくし、心地よい外部空間とします。
緑地帯には地被型の植物で複層ボーダー植栽を行い、長期にわたり雑草の発生を抑制し緑地を維持できます。
三種類の植物を混植することで春・夏・秋には順次花が咲く楽しみもあります。



タイムロンギカウリス



リシマキア・ヌンムラリア



ポテンチラ・ベルナ



三種類の植物 混植の様子

- (2) 環境負荷の低減を図る運営・維持管理が可能な建物

【省エネルギー】

- 照明コスト削減
自然光を有効に利用するため、各室の開口部を大きくする他、既存のメイン階段の吹き抜け空間も活用します。
多くの光を建物内に取り入れて室内を明るくすることで、照明の消費エネルギー削減に貢献します。
また夏期は直射日光を遮へいすることで室温上昇を抑制し、冷房負荷を軽減します。
- 換気コスト削減
増築部は空気の流れが留まらないような計画とします。
換気、採光を十分とれる計画とし、冷暖房負荷を出来るだけ削減します。
- 暖房コスト削減
外壁や軒裏の断熱化をして、躯体を通した熱負荷の低減を図ります。開口部には、断熱複層ガラスを採用し、冷暖房負荷を削減します。
敷地内の樹木を保全し、熱負荷の低減、建物周辺の生態系の保護・育成を図ります。

- (3) 人が多く集まる場では、シックハウス対策を特に考慮する

シックハウス対策

室内に使用する建材を基準法が定める化学物質の発生が無いものを使用する。
(F ☆ ☆ ☆ ☆ の製品を使用する)

【技術的基準】

- ・ 建材にクロルピリホスを添加することを禁止。
- ・ クロルピリホスを添加した建材を使用禁止。
- ・ 内部仕上材に第一種ホルムアルデヒド発散建材を使用禁止。

気候風土

【雪対策】

増築部分の屋根は緩勾配とし、既存体育館の屋根方向と同じにすることで、落雪の堆雪スペースを統一します。除雪をのしやすい計画とします。

1 3 . 防災計画

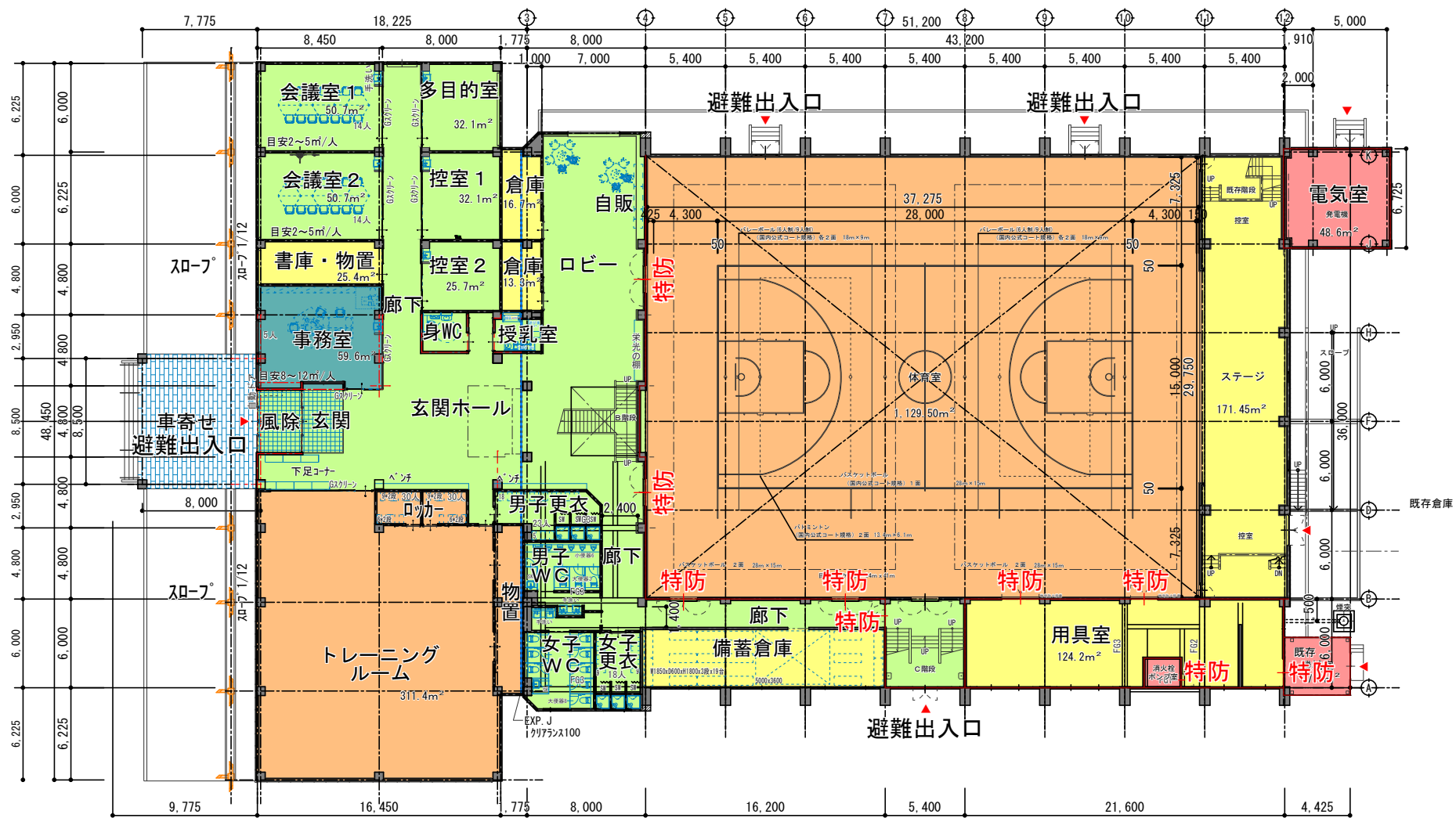
①通常災害時に対応した安全・安心な指定避難所

- ・ 体育館の増築部分は、鉄骨造の耐火構造とします。また既存の体育館（体育室側）は、鉄筋コンクリート造の耐火構造となっています。
- ・ 建物内からの避難は不特定多数の人が安全に移動できるよう、避難口を分散させ、避難経路は明確な動線で計画します。
- ・ 外部は敷地内に避難上及び消火活動上必要な通路を設けます。
- ・ 増築部の屋根勾配は、既存の体育館の屋根勾配と同じ方向・勾配とします。雪害対策として、屋根からの落雪方向を統一し、除雪等にも配慮します。

- ・ 車寄せに無落雪屋根を設けて、出入口付近の落雪等を防ぎます。
- ・ 建物周囲や隣棟間は、除雪しやすい配置とし通路は段差の少ない計画とします。
- ・ 外灯や建物外壁に設置される防犯灯により夜間の防犯に配慮します。
- ・ 敷地の周囲や適当な場所にセンサーや防犯カメラを設置し、事務室等で随時確認できるようにします。

②大規模災害時に備えた広域防災拠点

- ・ 災害時に避難所として機能する建物とする。
- ・ 敷地内駐車場や周辺の施設、広場とも連携し、防災活動拠点の一部としても利用できるようにする。
- ・ 食料やテントなどを備えた備蓄倉庫を整備する。
- ・ 街灯や建物外壁に設置される防犯灯により、夜間利用や防犯面にも配慮した計画とします。
- ・ 外部空間には、緊急車両の乗り入れや災害時の支援物資の搬入を容易に出来るよう余裕を持ったスペースを設けます。



凡例

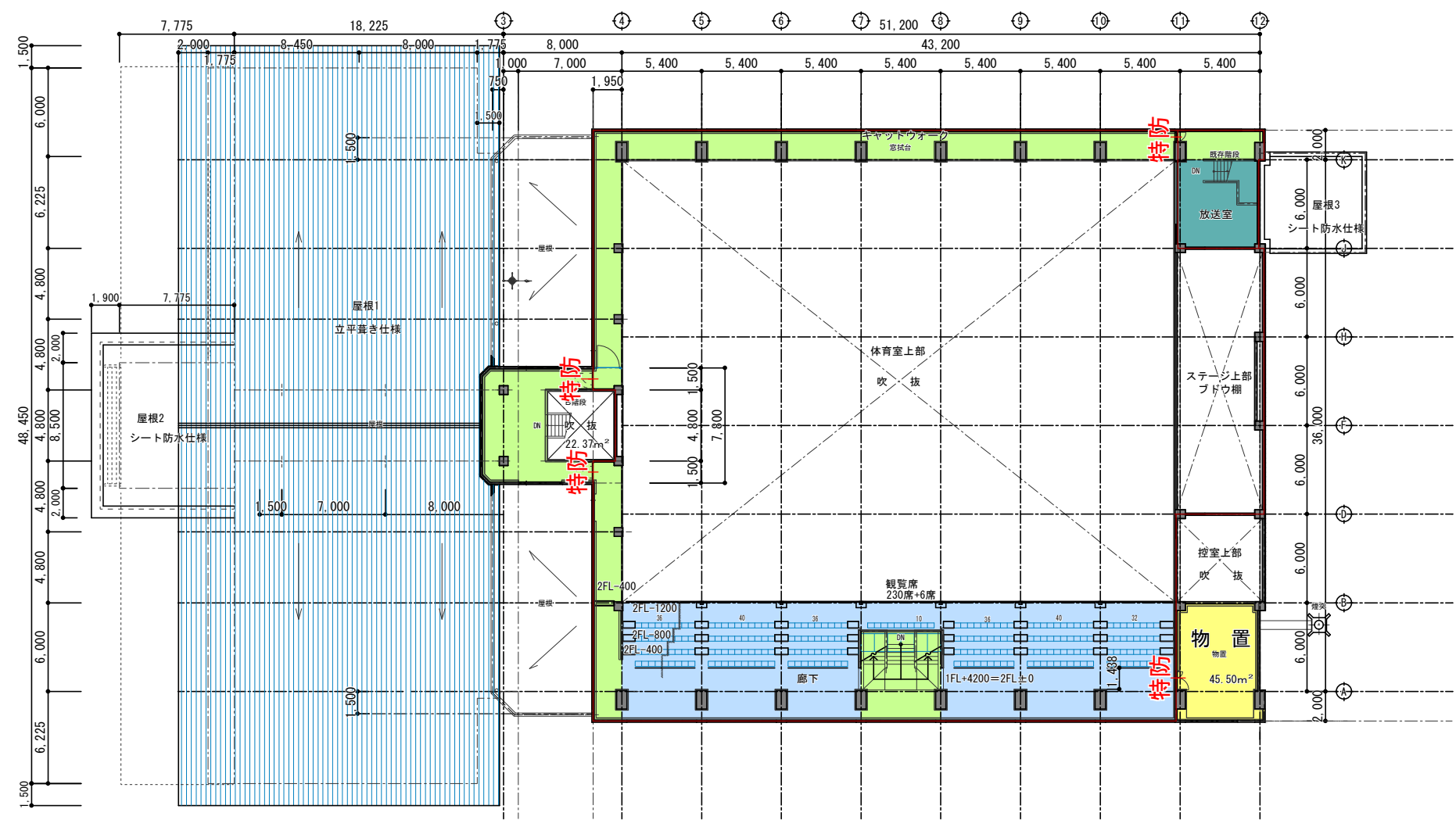
—— 防火区画ライン

特防 建具（特定防火設備）

増築部と既存体育館（体育室側）を1棟として計画
Exp. Jでつなぐ
面積区画は 1,500m²以下

1 階平面図 S = 1 : 4 0 0

1 3 . 防災計画



凡例

— 防火区画ライン

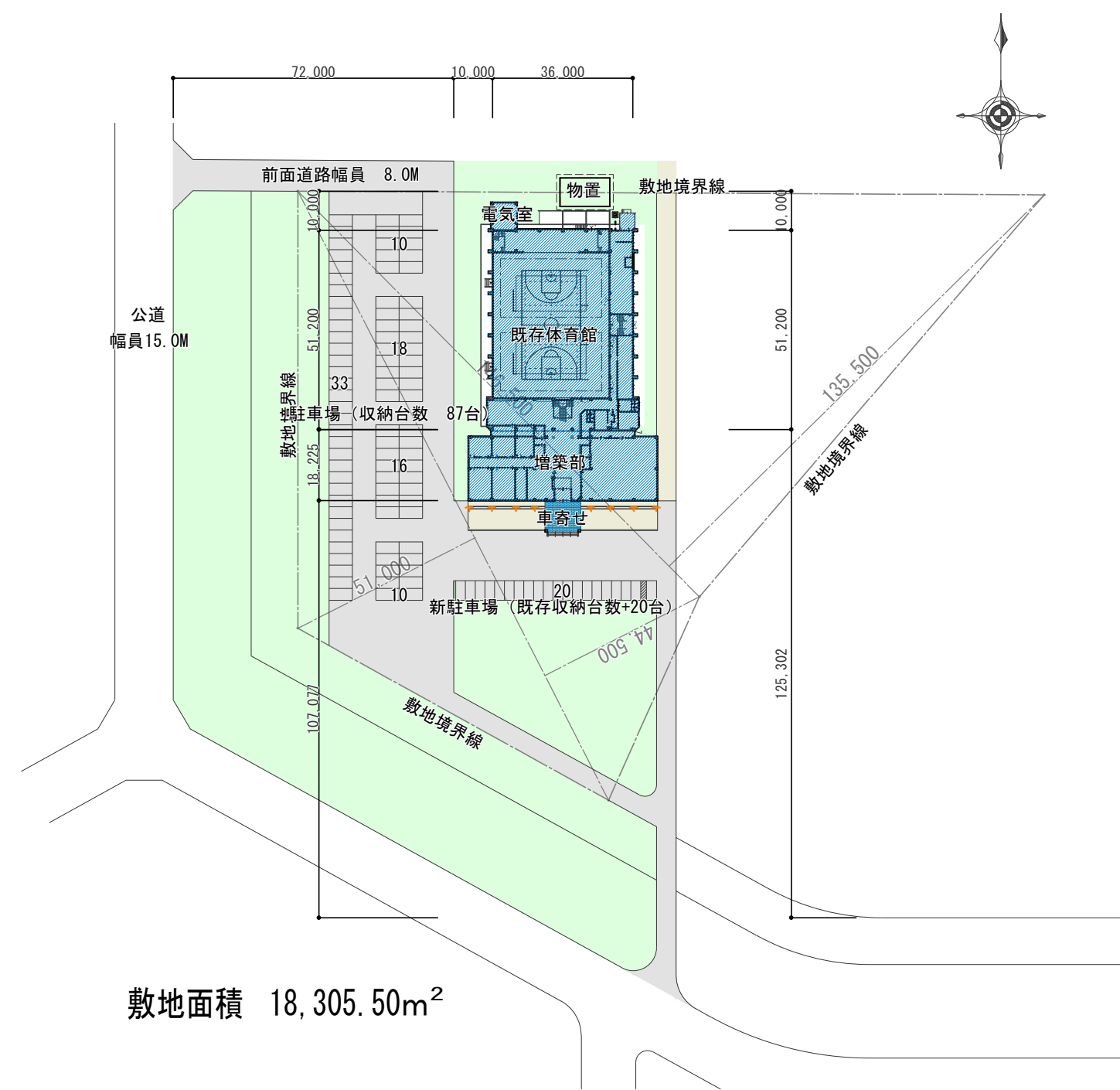
特防 建具（特定防火設備）

増築部と既存体育館（体育室側）を別棟として計画
耐火仕様のExp. Jでつなぐ
面積区画は 1,500m²以下

1 4 . バリアフリー計画

バリアフリー計画の基本方針

体育館は「秋田県バリアフリー条例」により特定生活関連施設に該当するため、条例の基準に従って計画する他、地域開放を行う施設でもあるため、地域に開放する部分は条例施行規則6条・別表第2の整備項目、整備基準に従って計画します。



(各部の計画)


部 位	条例による整備基準		備考
出 入 口	・屋外への出入口1以上幅120cm以上、 その他90cm	○	
	・屋内の出入口幅80cm以上	○	
	・自動的に閉鎖する戸	○	
	・衝突防止、段差、滑りにくい仕上げ等	○	
廊 下	・粗面、又は滑りにくい仕上、段差等	○	
	・廊下の幅は内法を140cm以上	○	
	・視覚障害者対応	○	玄関
	・傾斜路		
	・勾配は1/12以下、高さ16cm以上両側手摺		
	・転落を防止する処置、仕上		
	・視覚障害者対応		
階 段	・幅≧1400、蹴上≦16cm、踏面≧30cm	×	既存不適格
	・両側手摺の設置	○	
	・滑り、つまずき防止の仕上げ	○	
	・視覚障害者対応	○	
	・回り階段でない	○	
便 所	・車椅子使用者が利用できる便所の設置	○	
	・手摺の設置	○	
	・出入口幅80cm以上	○	
	・1以上に床置き式小便器の設置	○	
	・円滑に開閉し、通過できる戸	○	
駐 車 場	・車椅子使用者用駐車施設の設置（2%以上）	○	
	・車いす用は幅350cm以上	○	
敷 地 内 通 路	・粗面、又は滑りにくい仕上	○	アスファルト舗装
	・段には手摺、視覚障害者対応、 つまずきにくい構造	○	
	・傾斜路		
	・勾配1/12以下、 又は高さ16cm超えかつ勾配1/20以上	○	
	・視覚障害者対応	○	
案 内 設 備	・案内板を設置する。	○	案内所を設置

1 5 . 建物意匠デザイン・色彩計画

1. 周辺環境への配慮


西側

北側 県道42号（男鹿八竜線）
ホテルサンルーラル大潟
大潟村集合型村営住宅
大潟村多目的運動広場



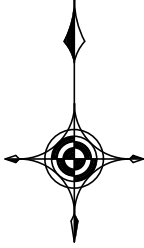
ホテルサンルーラル大潟

北側 県道54号（男鹿琴丘線）
大潟村役場市民球場



(Googleマップより引用)

東側
住宅地



南側 大潟村立大潟小学校
大潟村立大潟中学校

2. 色彩計画のコンセプト

- 建物全体イメージ
植生の多い大潟村街区に溶け込むような、大木をイメージしました。
- ◎スノーホワイト
- ・木の色・質感が映え、建物全体が明るくやわらかい雰囲気をもとえるよう、ベースの色に白を選びました。
 - ・建物正面はカーテンウォール等により大きな開口部を計画しているため、併せることで軽さを持たせ、親しみやすさを演出します。
- ◎ダークブラウン、木目
- ・建物正面に木質材料を採用するため、近しい色みを多用し、白との対比を生かします。
 - ・街区の松の木をイメージしたダークブラウンと、季節感のある広葉樹をイメージした薄い茶色を採用します。
 - ・開口部から室内にも温かみのある木の色が伝わる計画とします。

- ◎桜色、桃色
- ・大潟村の街中に多く植えられている桜の花を建物のワンポイントとして取り入れます。
 - ・タイルとして取り入れ、タイル1枚1枚の微妙な色の違いを花や葉に見立てます。



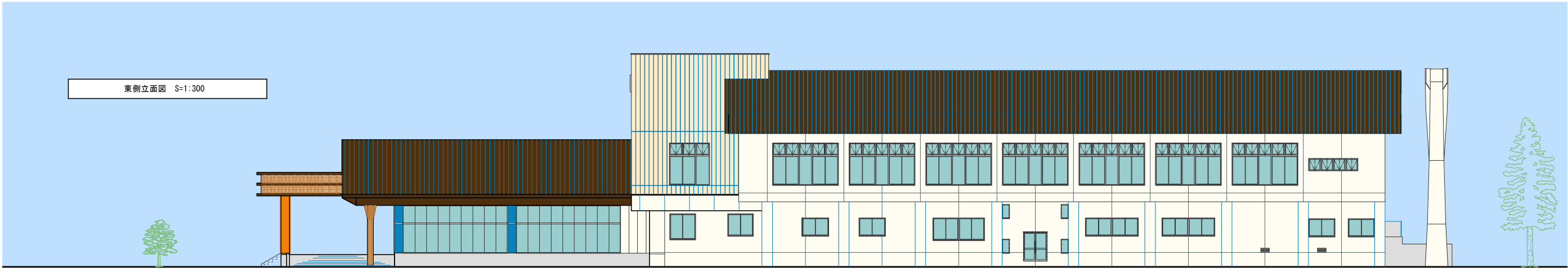
スノーホワイト

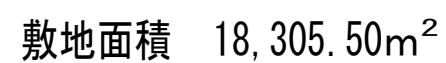


ダークブラウン
木目



桜色





1 7 . 構造計画

構造計画概要

①建物概要

本建物は、以下の建物ごとに構造種別、構造形式を考慮し計画する。

・ 体育館	既存体育館棟（既存改修工事） 管理・トレーニング棟（増築工事）
-------	------------------------------------

②耐震診断検討

2017年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針・同解説（一般財団法人日本建築防災協会/国土交通大臣指定耐震改修支援センター）に準拠する。
既存車寄RC躯体及び既存RC壁を一部解体による検討

③耐震性の判定

$I_s \geq 0.7$ かつ $CTUSD \geq 0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U$ であれば『倒壊の危険性が低い』
玄関車寄せ架構を撤去した結果、建物全体としては剛性バランスや保有水平耐力に与える影響は小さくなく、地震力用重量の減少等もあり、現状診断結果と同じような耐震性能となり、1・2階とも必要耐震性能を満足する結果です。

④耐震設計

本建物の耐震設計の基本方針として以下に示すように、2つのレベルの地震動の強さを設定し各々に応じた耐震性能の目標を設定する。
建築物が耐用年限中に数度遭遇する可能性のある地震（中地震）に対しては、構造体に損傷を生じさせないことを目標とし、また、最大級の地震（大地震）に対しては、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保を加えて機能確保が図られるものとする。

⑤耐震性能目標

「官庁施設の総合耐震計画基準の及び同解説」に基づき、構造体耐震安全性の目標をⅡ類とします。具体的には建築基準法で規定されている耐震性能に対して1.25倍の耐震性能を確保することを目標としています。

部位	分類	耐震安全性の目標
構造体	I類	大地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。
	Ⅱ類	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られている。
	Ⅲ類	大地震動により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られている。
建築非構造部材	A類	大地震動後、災害応急対策活動や被災者の受け入れの円滑な実施、又は危険物の管理のうえで、支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。
	B類	大地震動により建築非構造部材の損傷、移動等が発生する場合でも、人命の安全確保と二次災害の防止が図られている。
建築設備	甲類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られていると共に、大きな補修をすることなく、必要な設備機能を相当期間継続できる。
	乙類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られている。

基礎・架構計画

施設名	棟 名	工 種	主 体 構 造	階 数	構造方式と構造的特徴
大湊村村民体育館	既存体育館棟（体育館）	改修	鉄筋コンクリート造 屋根 鉄骨造 既存のまま	2階建て	下部は鉄筋コンクリート造のラーメン構造、屋根面は鉄骨トラス（斜交立体トラス）構造である。 X方向（張間）は5.4mの8スパン、Y方向（桁行）は6mの6スパンである。 基礎は上部荷重を考慮し杭基礎である。
	増築管理棟（トレーニングルーム）	増築	鉄骨造	平屋	在来工法による重量鉄骨構造とする。 建物の基礎構造は、計画建物重量を考慮し杭基礎を計画します。 周辺環境から打込み杭の施工は困難なため、無振動、無騒音の認定工法を採用します。 地盤調査報告結果により実施設計時において経済的工法を選定します。

⑥準拠基準など

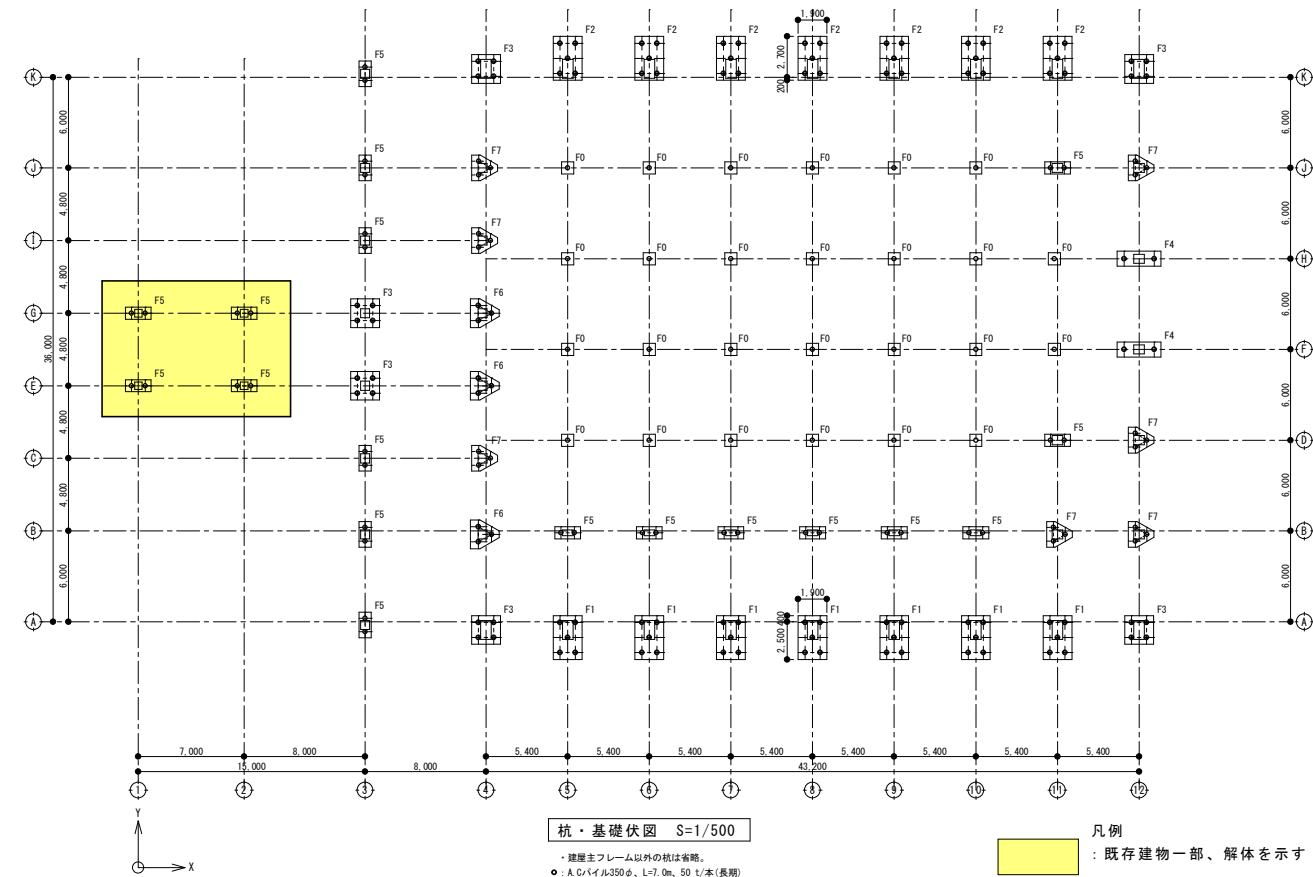
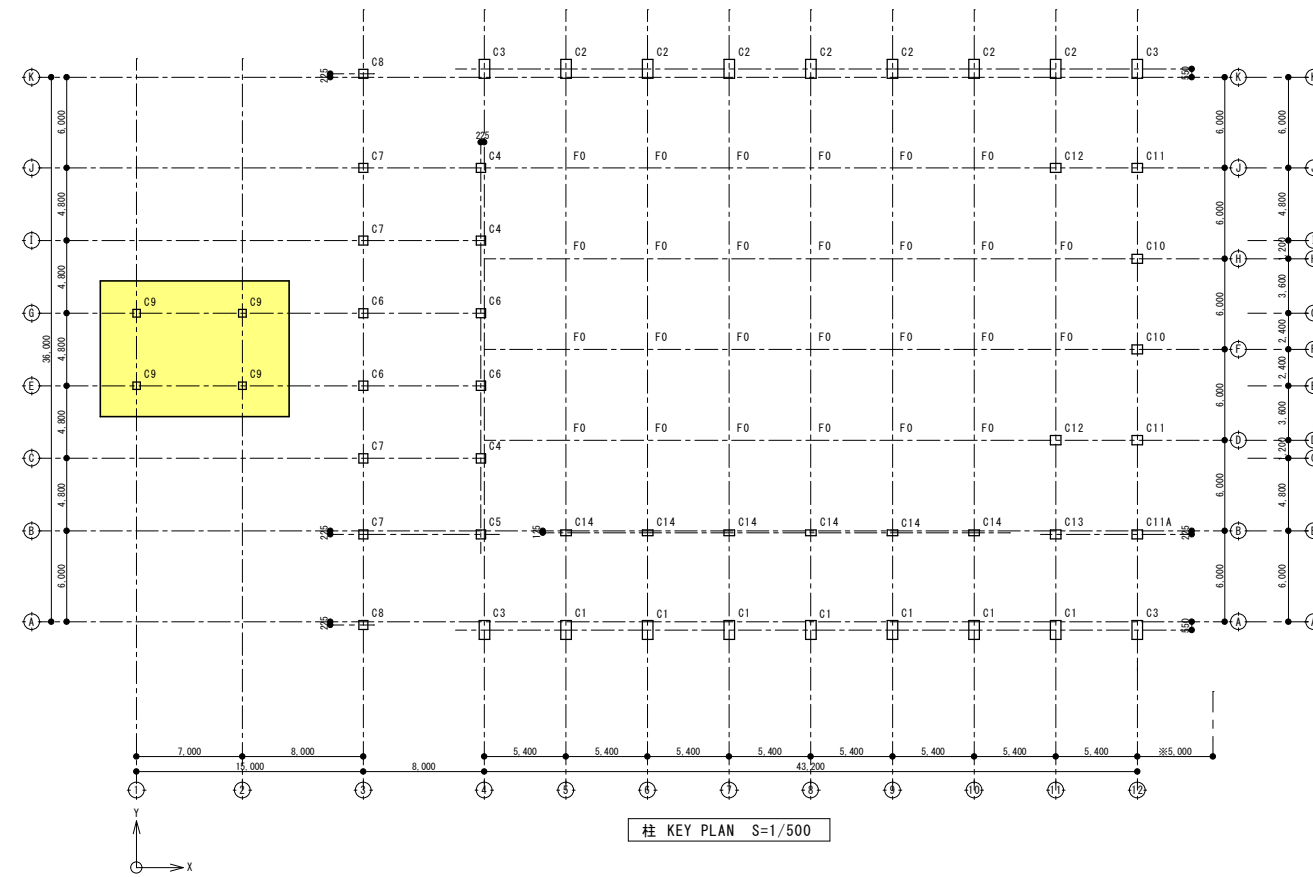
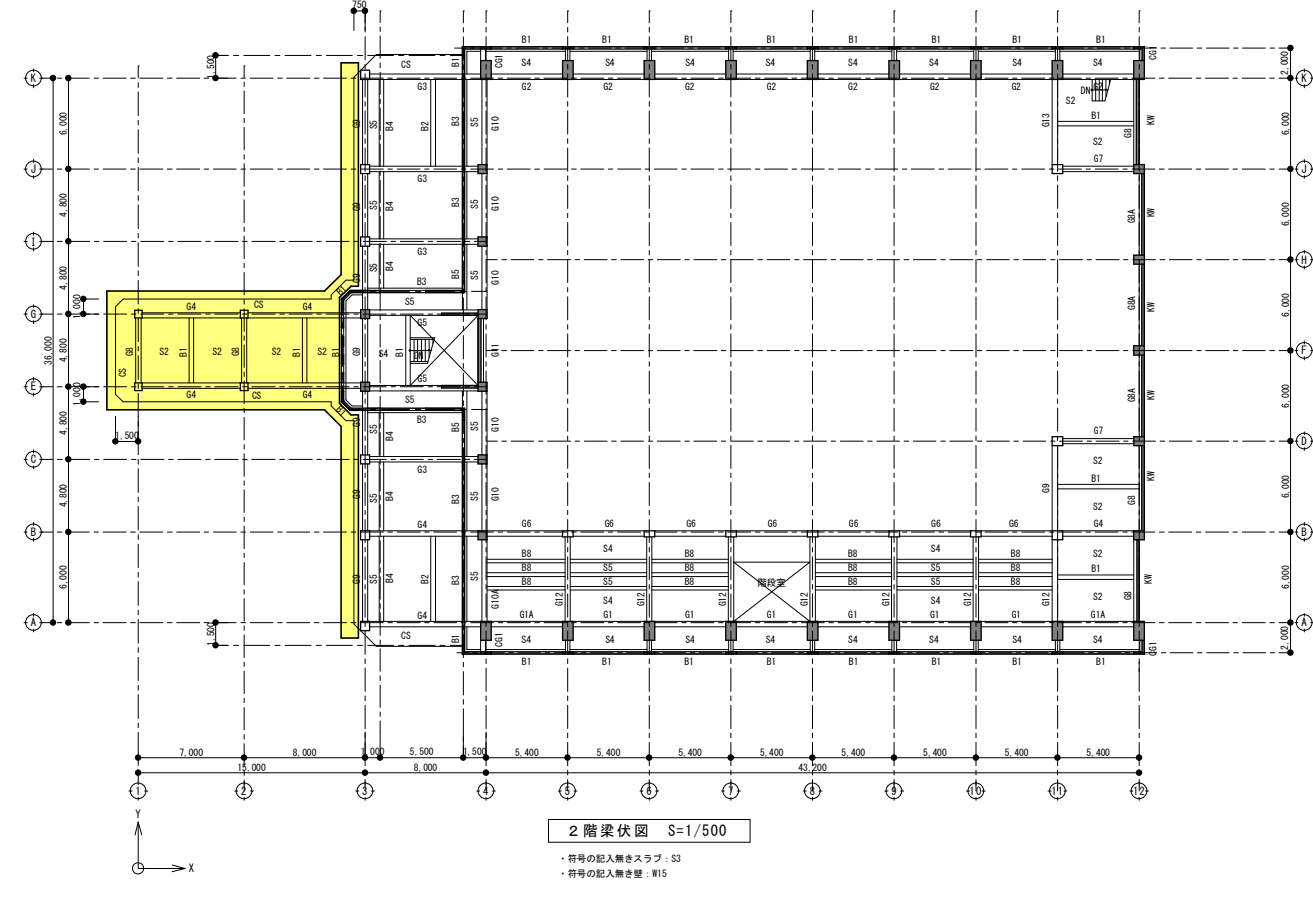
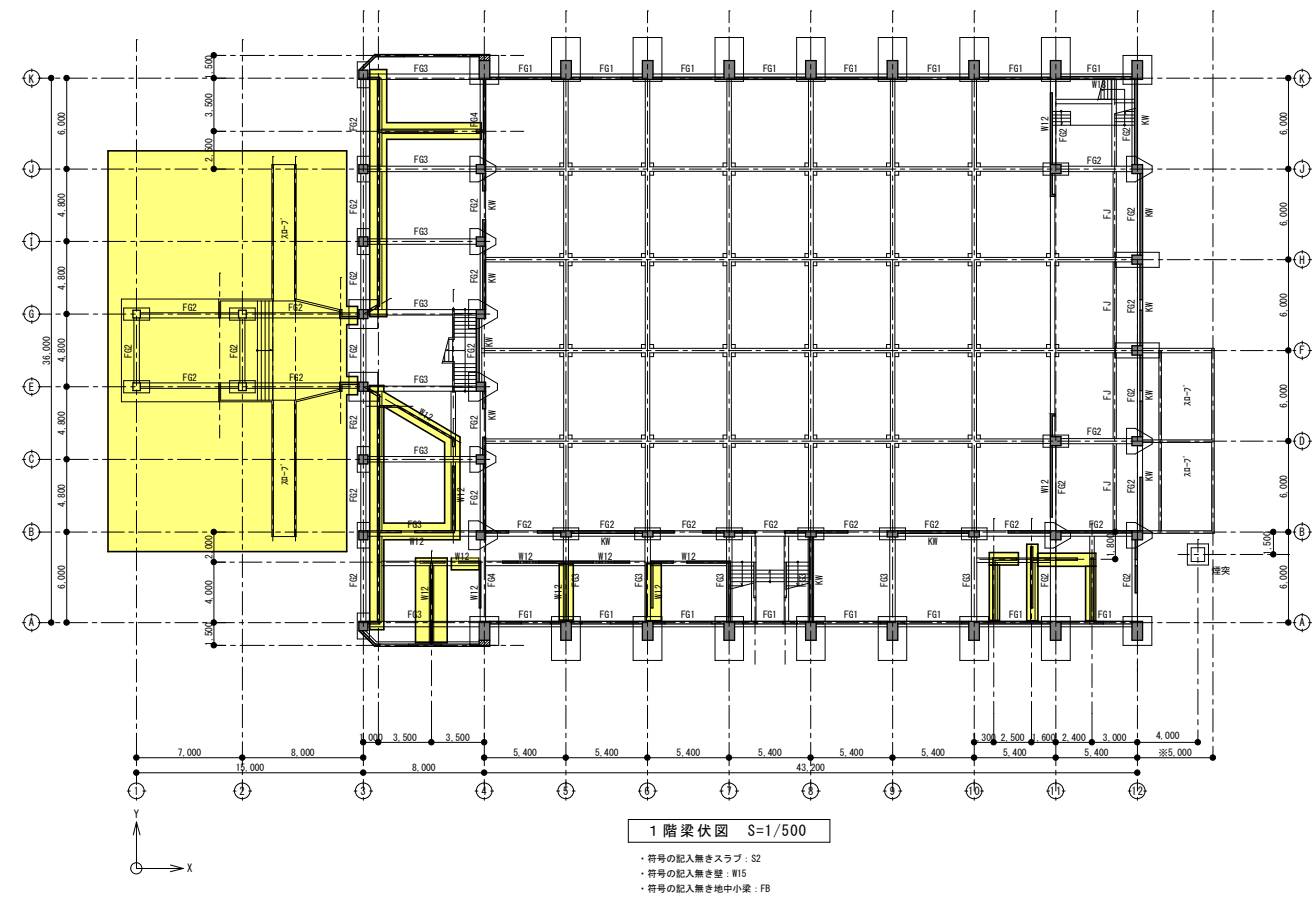
本建築物の計画にあたり、適用する基準類を以下に示す。

（１）法令	建築基準法、同施行令、国土交通省告示
（２）規格	日本工業規格（JIS）
（３）国土交通省	2020年版建築物の構造関係技術基準解説書
（４）日本建築学会	鉄筋コンクリート構造計算基準、同解説 鋼構造設計基準 建築基礎構造設計基準、同解説 木質構造設計基準・同解説

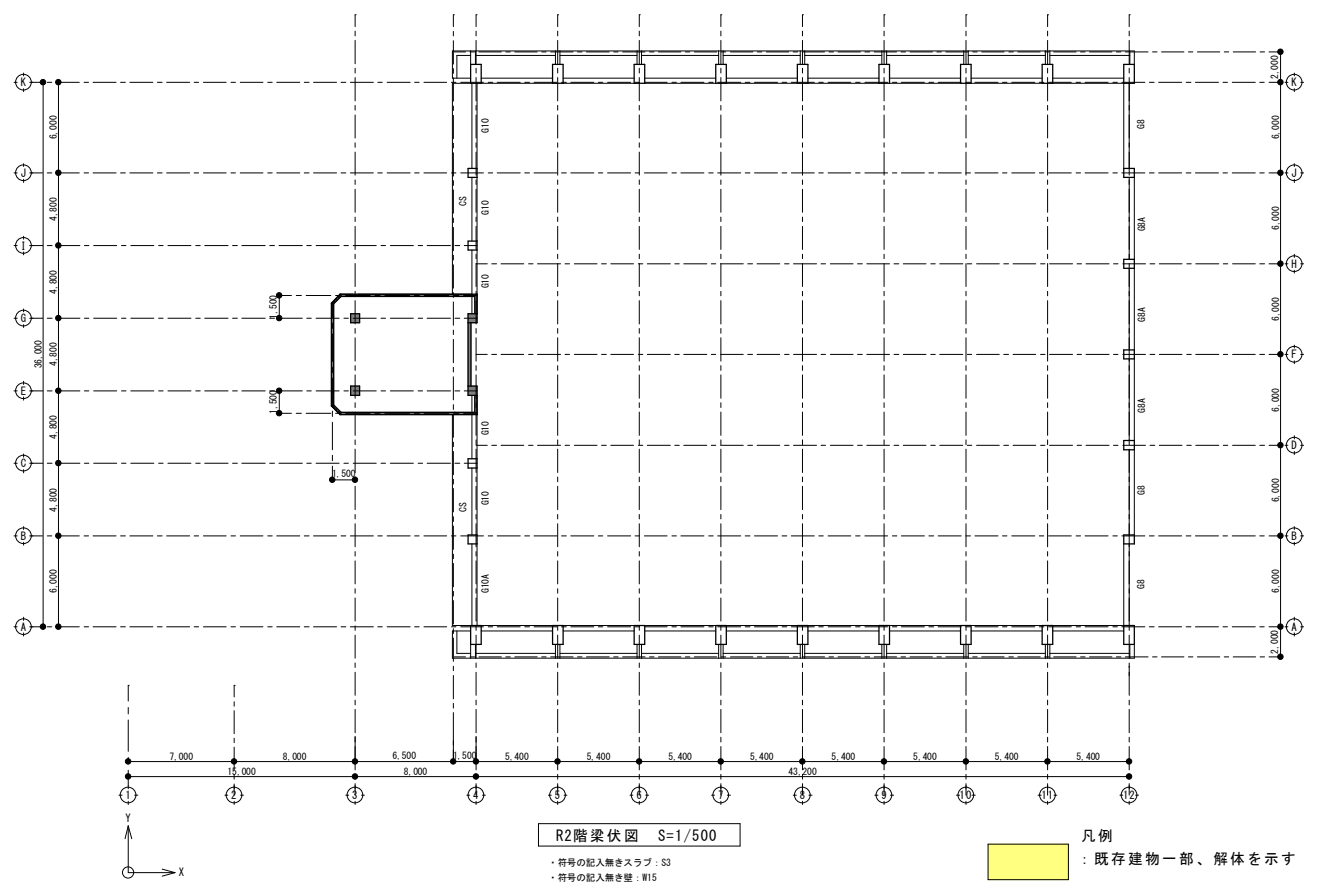
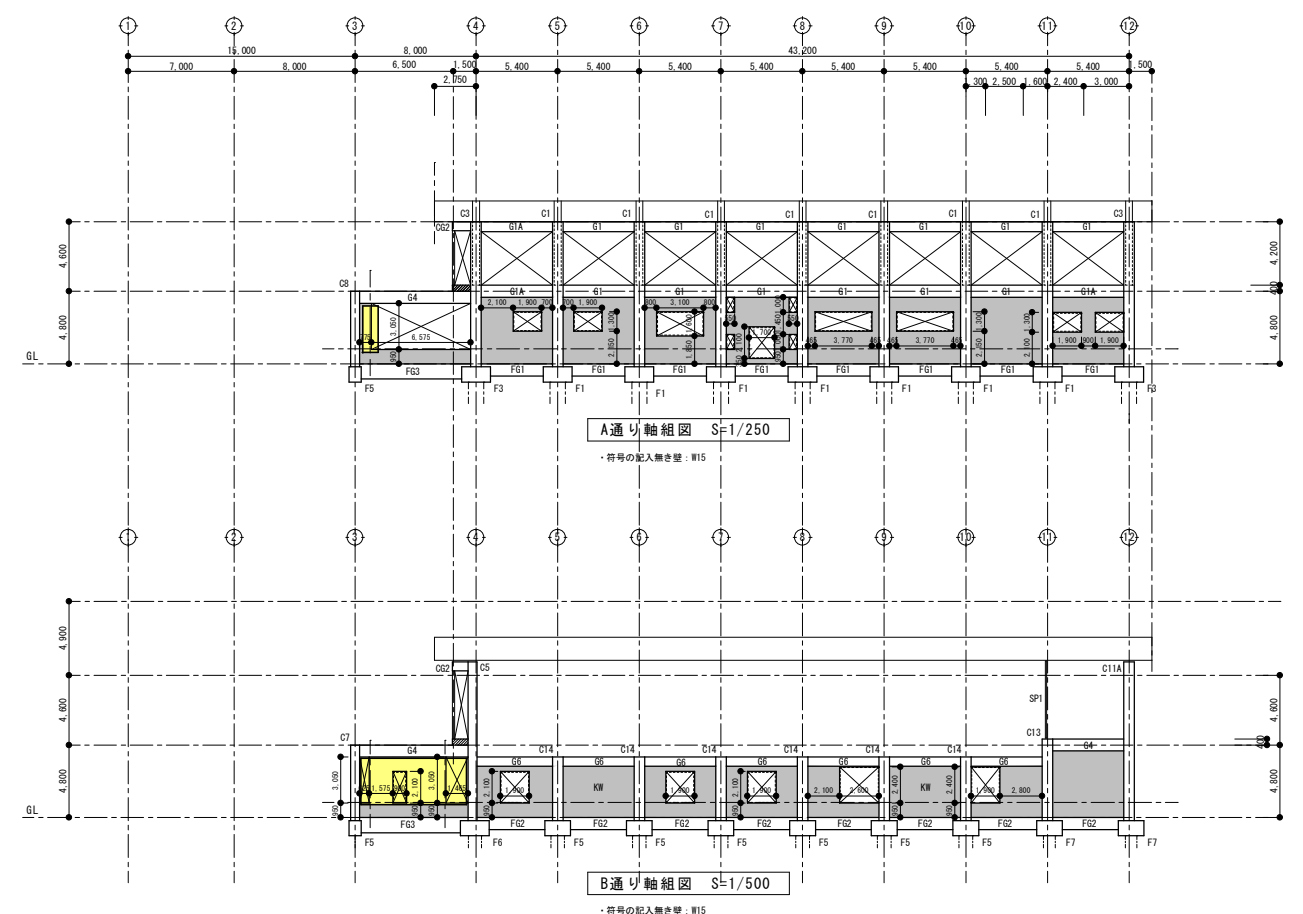
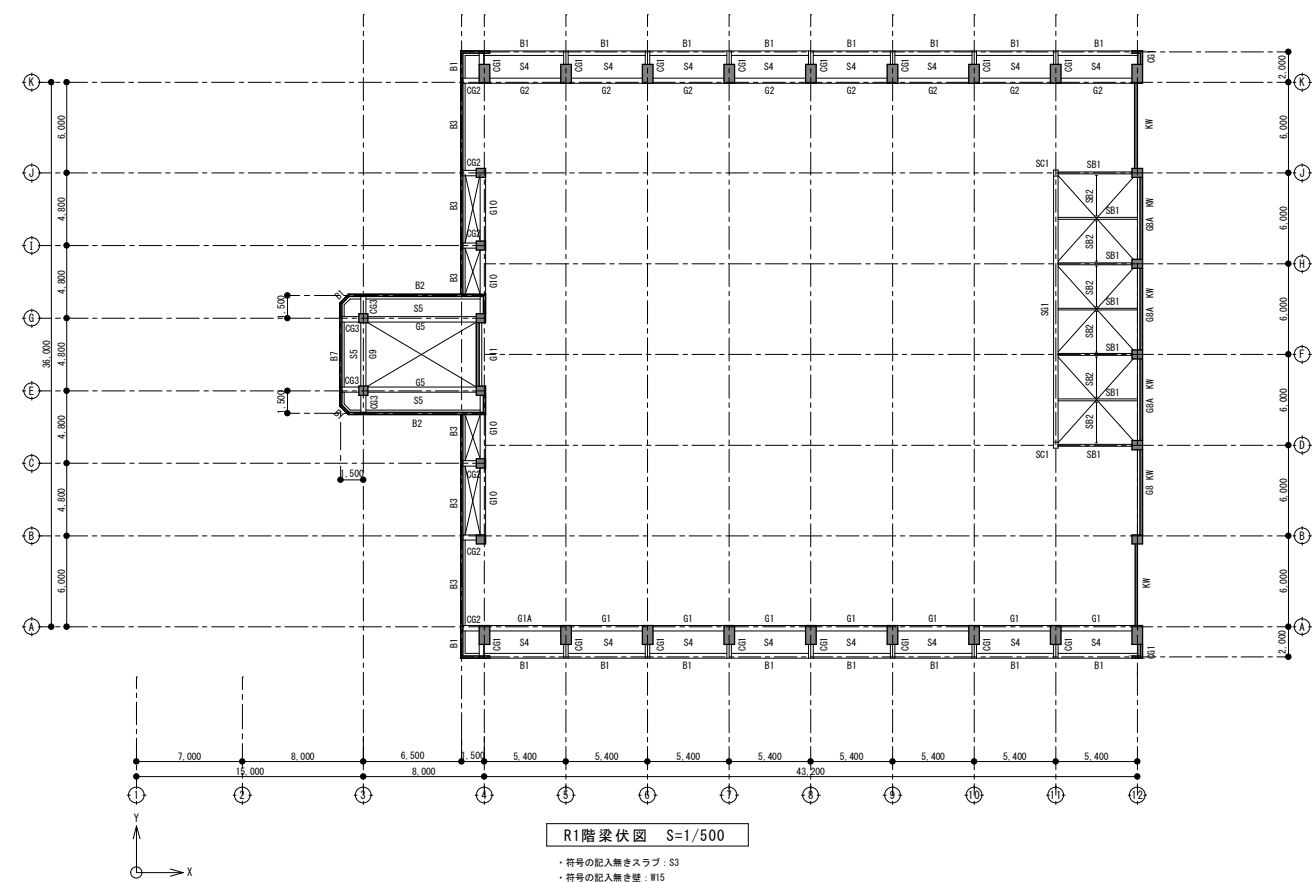
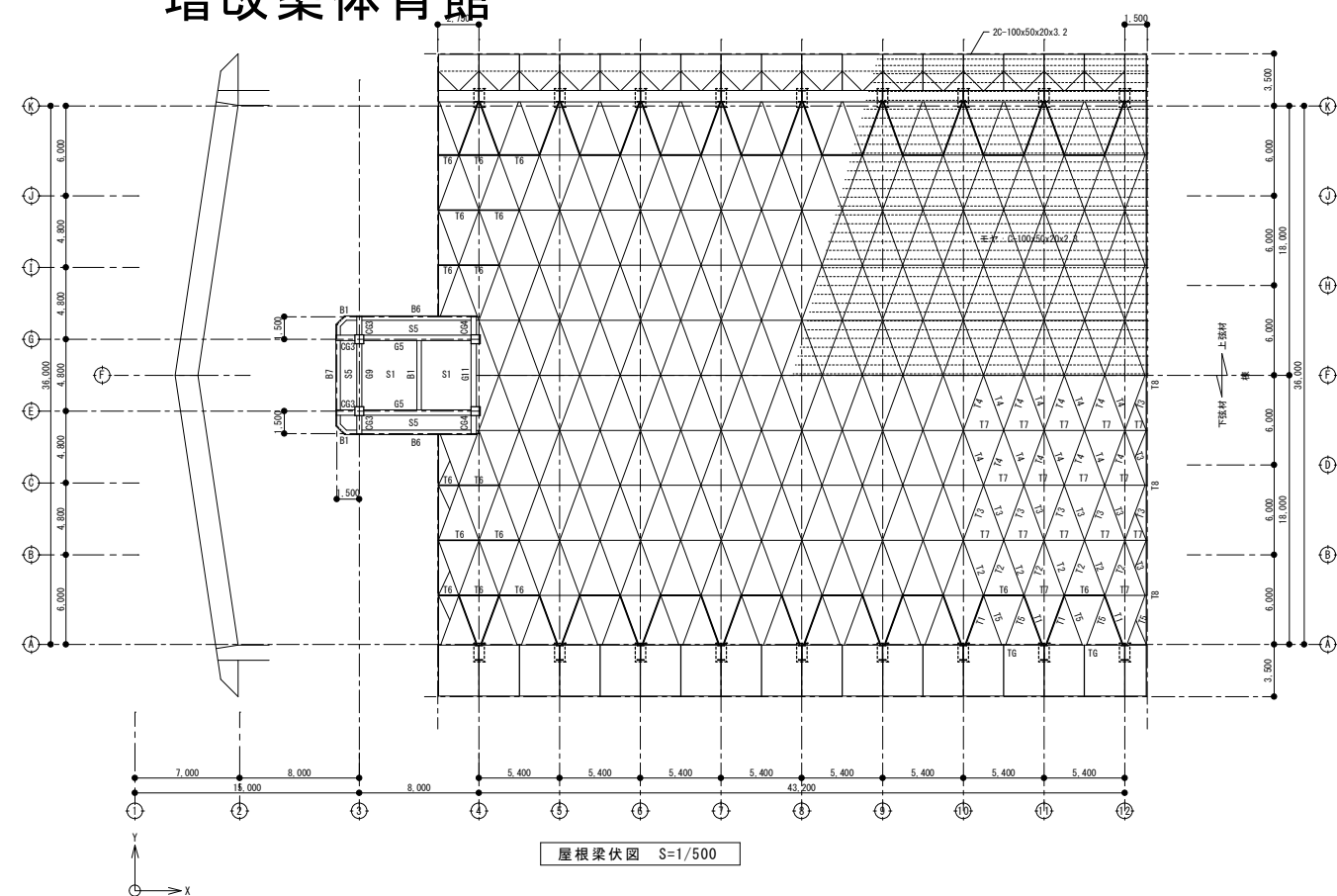
⑦考慮する荷重外力

（１）固定荷重	固定荷重は、材料の種別及び部材寸法に基き、実状に応じて算定する。
（２）積載荷重	積載荷重は、建築基準法施行令第85条第1項の規定によるほか実状に応じて算定する。
（３）積雪荷重	積雪荷重は秋田県条例に基づき算出する。 最深積雪量100cm 単位積雪量20N/㎡/cm 長期：1,400kN/㎡ 地震時：700kN/㎡
（４）地震力	地震力は建築基準法施行令第88条の規定により算出する。 地域係数：0.9とする 地盤種別：第2種地盤 重要度係数：1.25とする
（５）風荷重	風荷重は建築基準法施行令第87条の規定により算出する。 地表面粗度区分：Ⅲ ただし、設計速度圧は1000N/㎡を下回らないものとする。
（６）耐震安全性の分類	構 造 体：Ⅱ類 非構造体：A類 建築設備：乙類

1 7 . 構造計画
増改築体育館

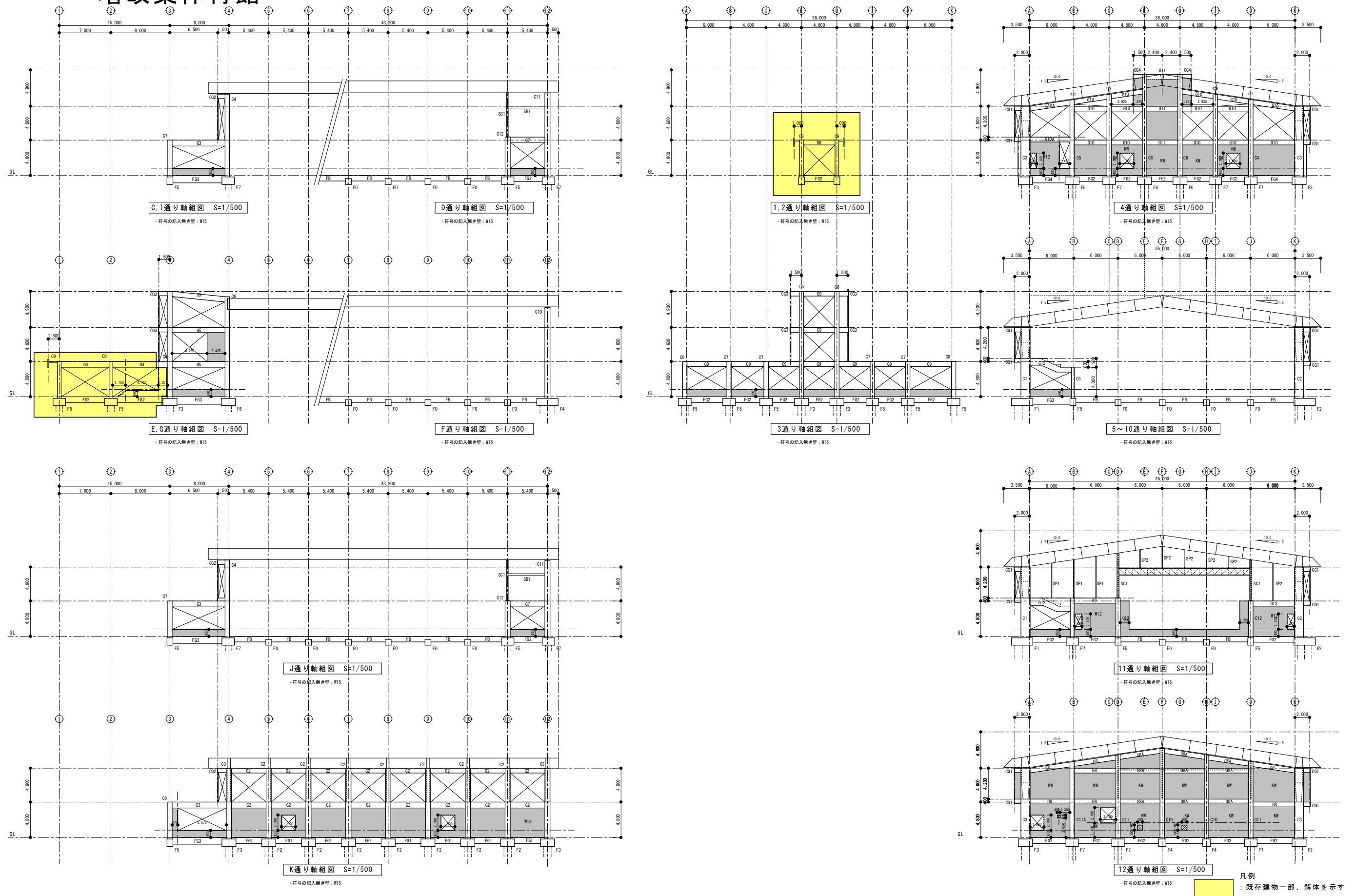


17. 構造計画
増改築体育館



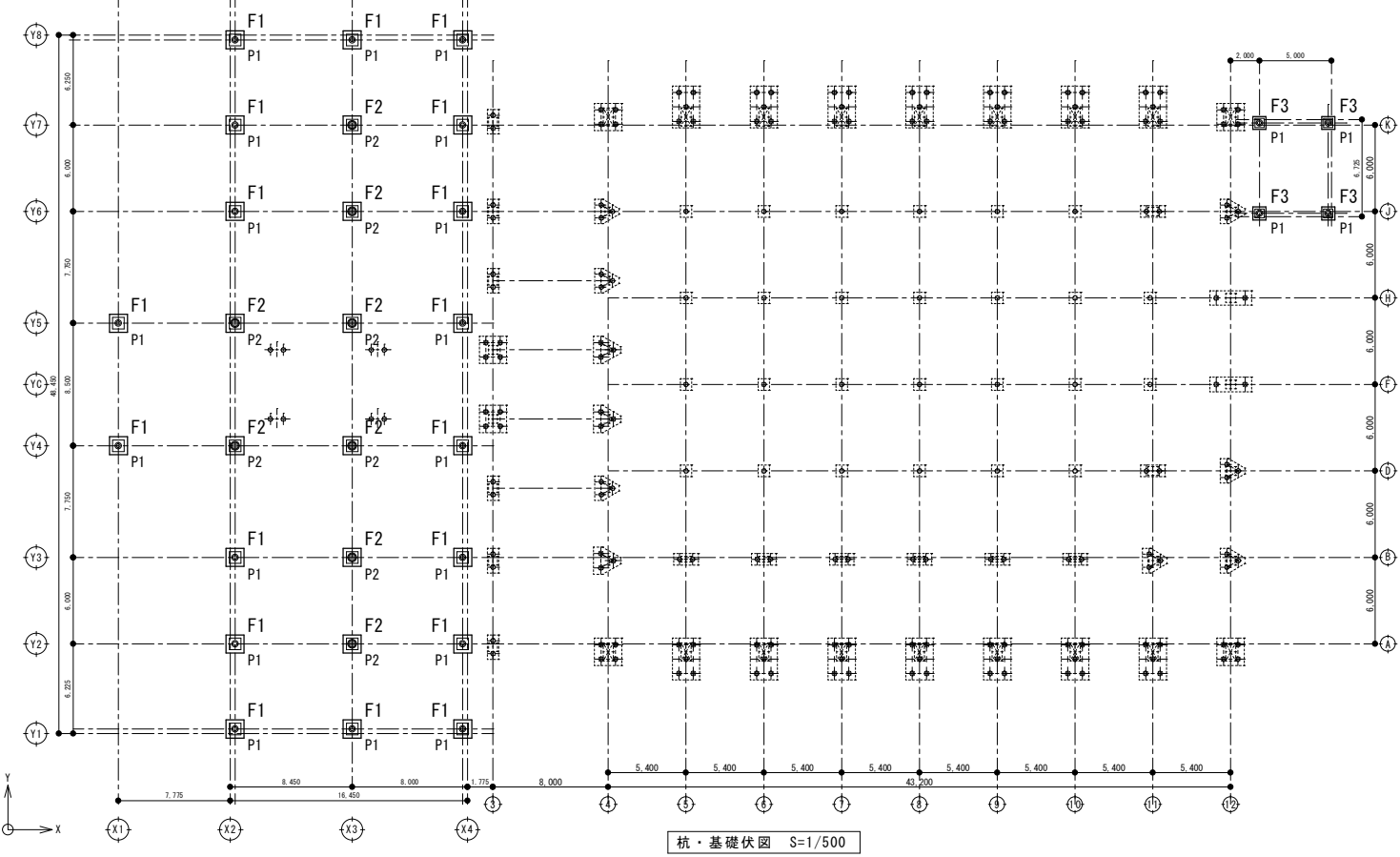
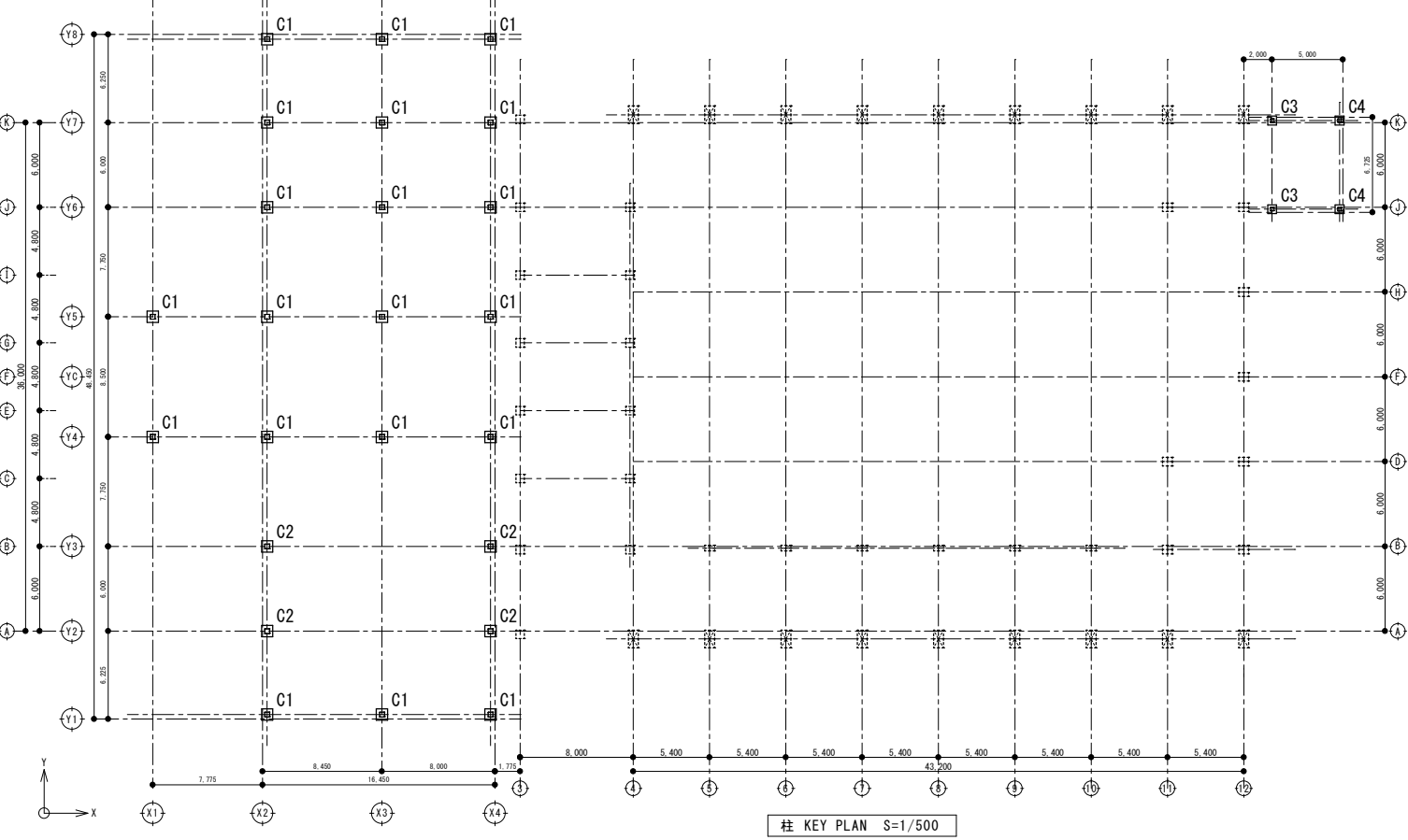
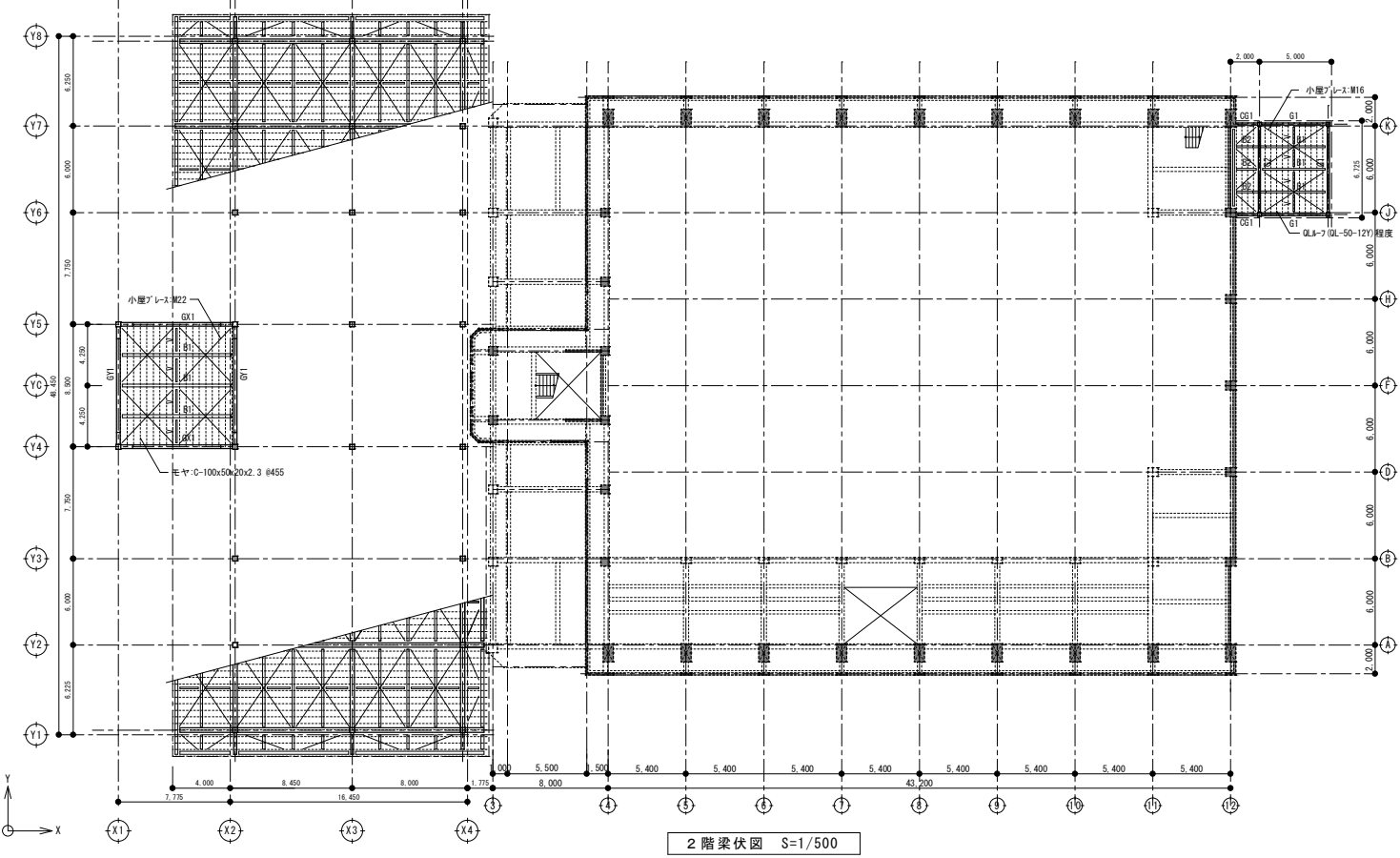
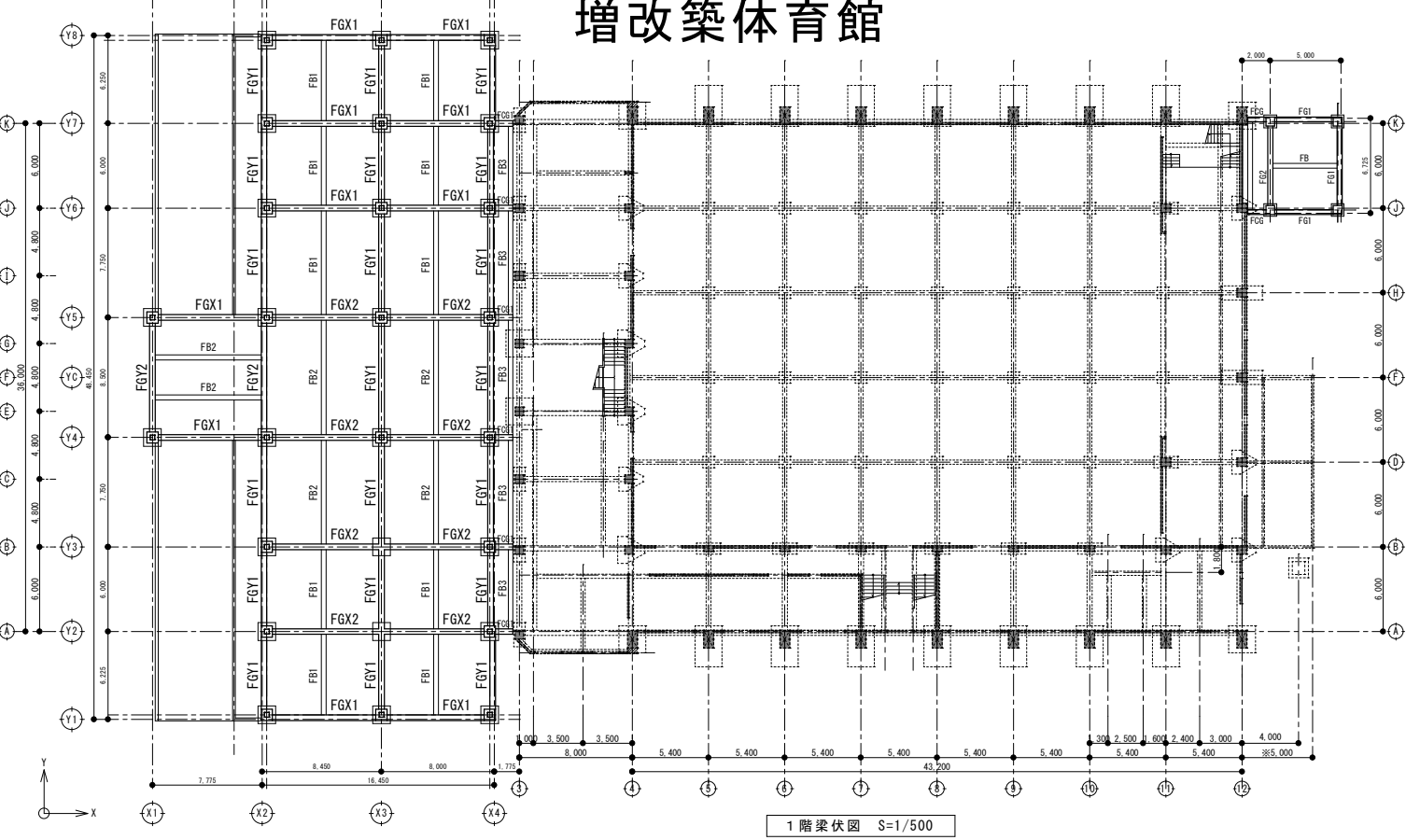
凡例
黄色塗りつぶし: 既存建物一部、解体を示す

17. 構造計画
増改築体育館



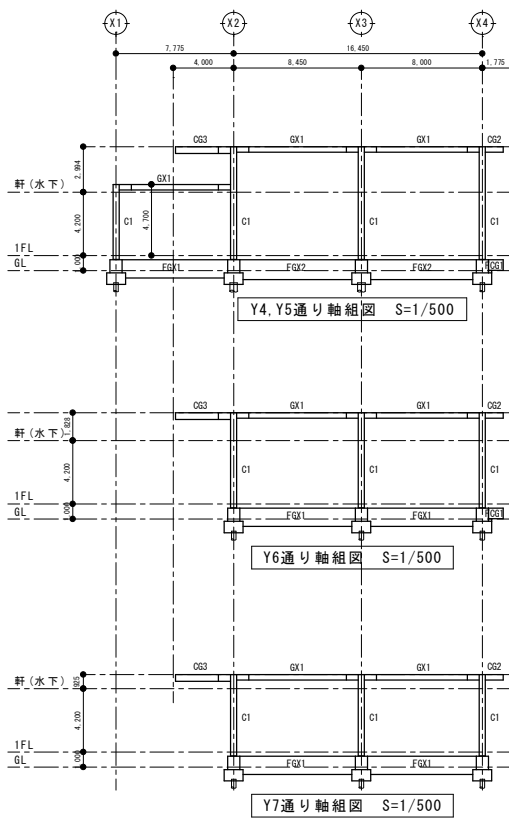
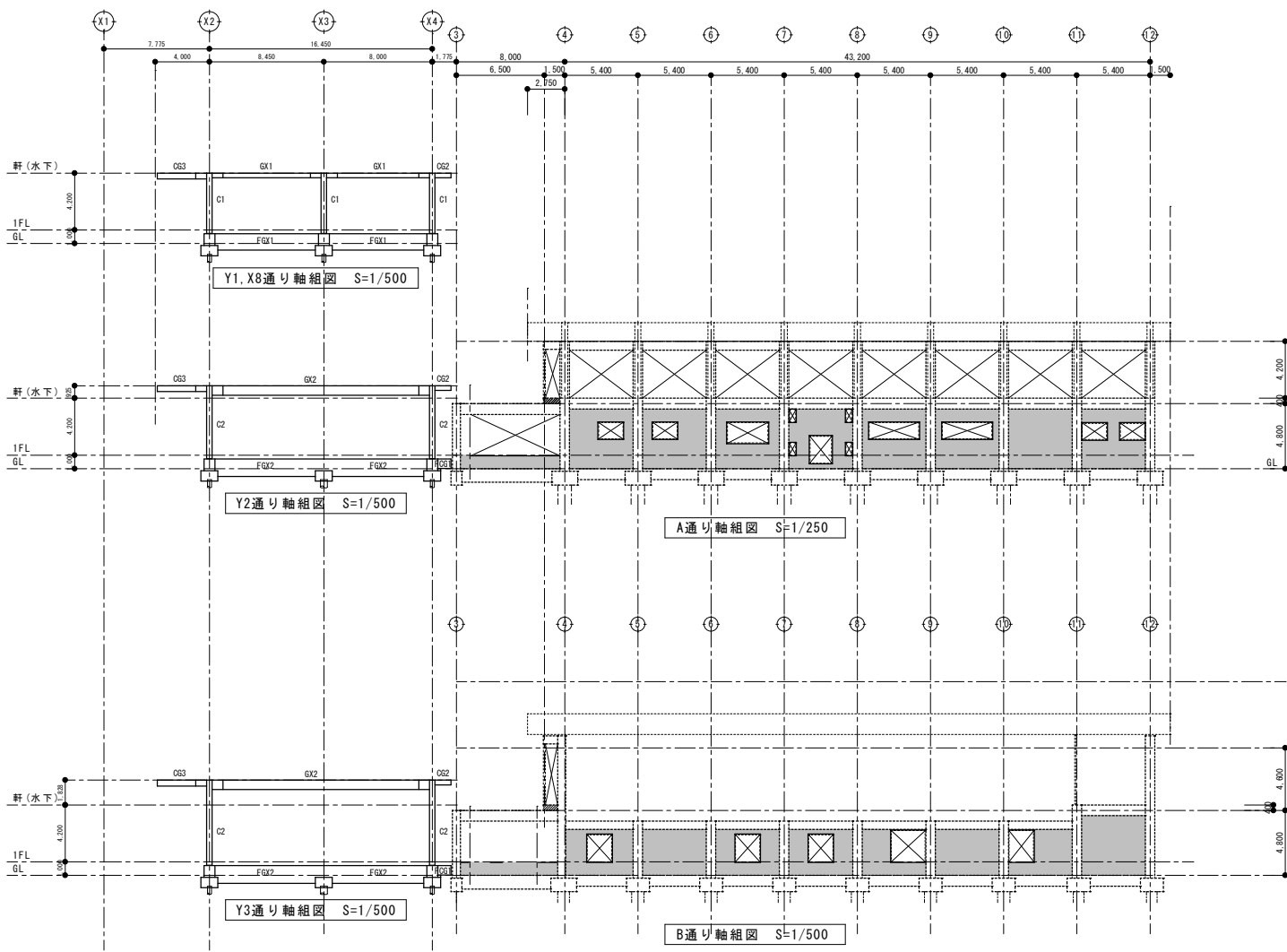
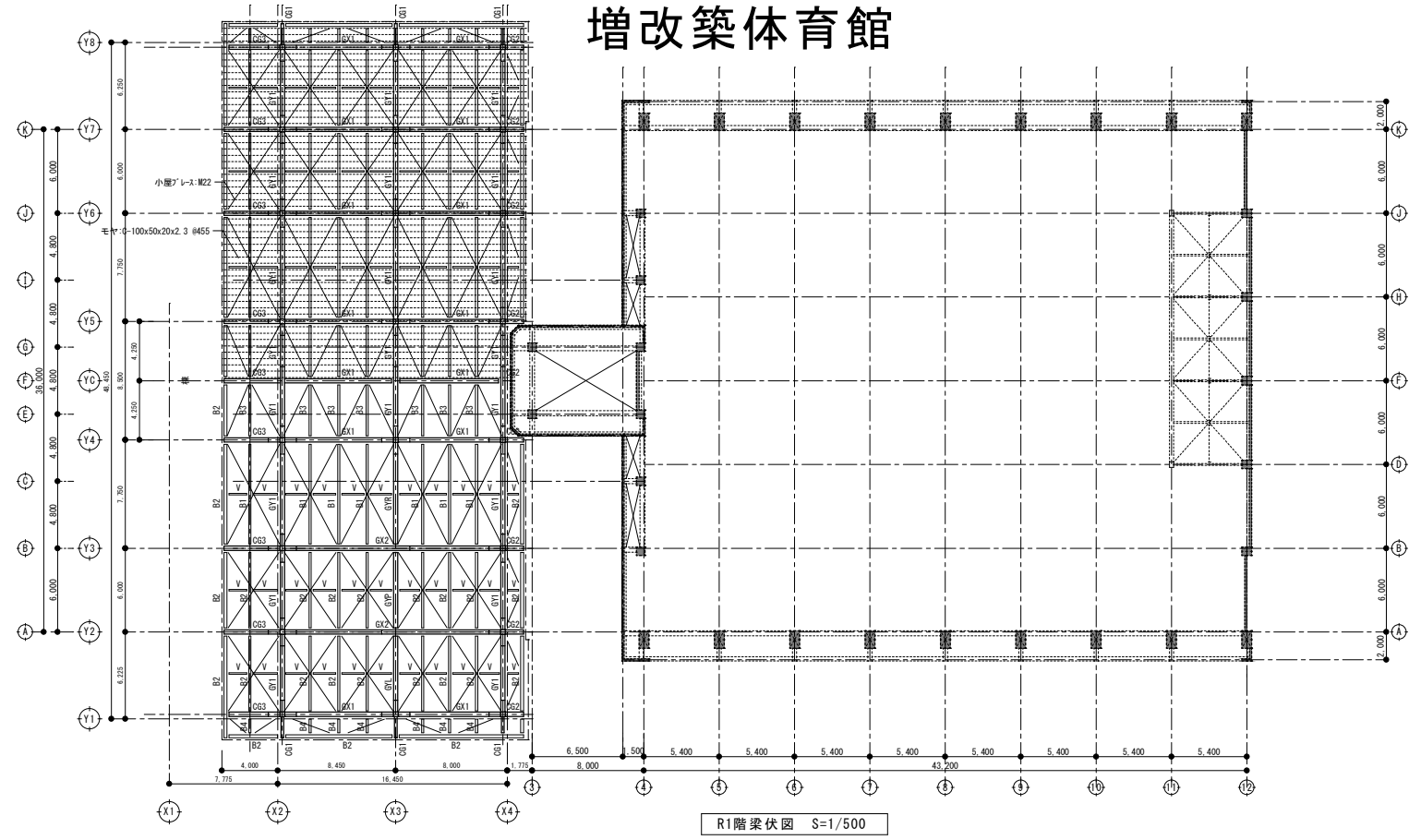
1 7 . 構造計画

増改築体育館



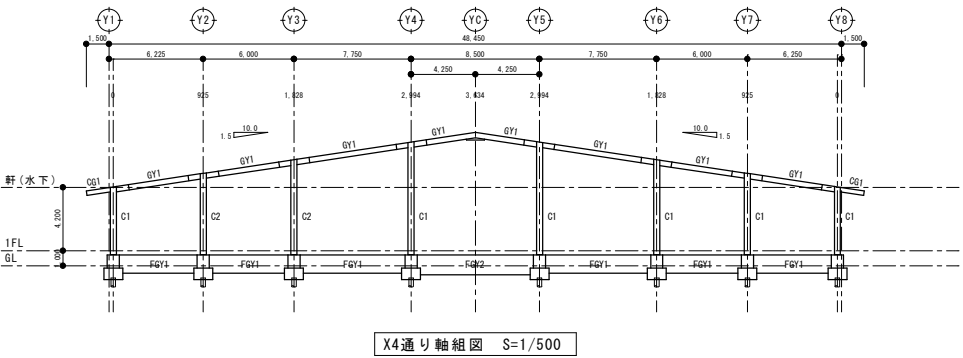
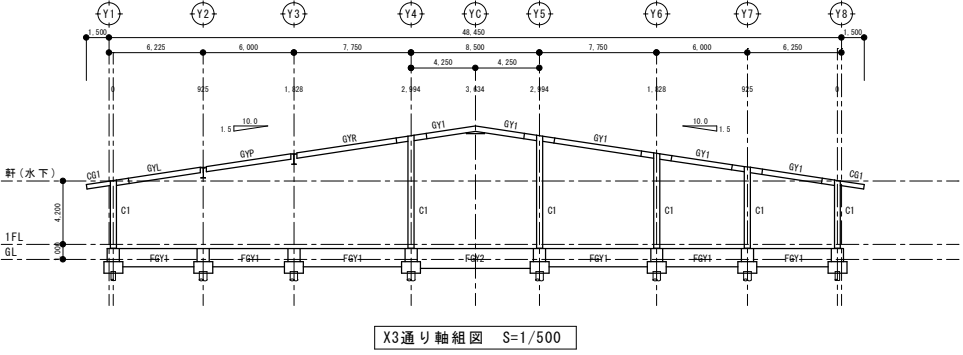
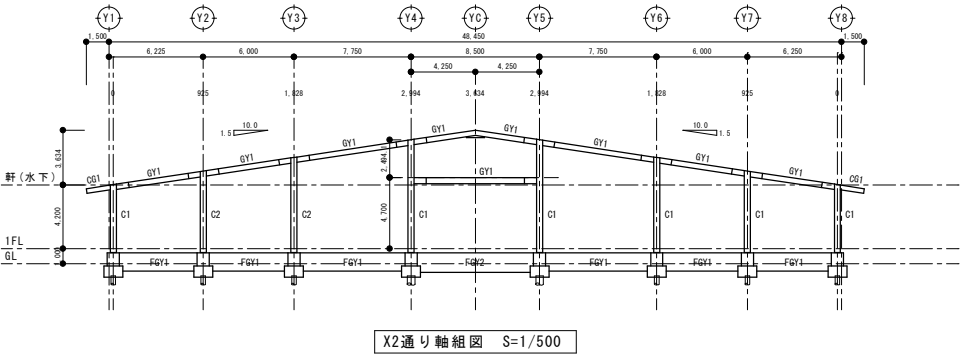
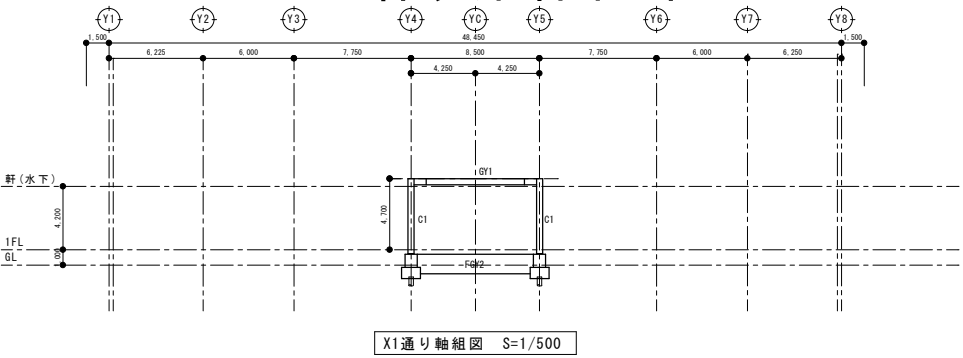
1 7 . 構造計画

増改築体育館



1 7 . 構造計画

増改築体育館



1 8 . 電 気 設 備 計 画

1 . 既 存 設 備 の 解 体 ・ 撤 去

既存の受変電・発電・動力・電灯設備等を撤去し、建築改修に合わせて更新します。

2 . 受 変 電 設 備

電力会社より高圧 1 回線にて引込み、屋外に設置するキュービクル型受変電設備に電源供給します。

受変電設備は耐久性を考慮し、ステンレス製とします。

変圧器は油入低損失型のトップランナー機種を採用します。

3 . 幹 線 設 備

低圧配電盤よりケーブルラックにて各分電盤に電源供給を行います。

幹線サイズ、ブレーカーフレーム値は許容電流値や電圧降下等により決定します。

分電盤は電灯分電盤、動力分電盤を要所に設置します。

4 . 電 灯 コ ン セ ン ト 設 備

L E D 照明器具を全館に配置します。

各室の使用目的に応じた器具形状を選定し、点滅回路を分けて使用状態に合わせた点灯に対応します。

建築基準法および消防法により非常用照明・誘導灯を配置します。

コンセントは「建築設備設計基準」による他、自動販売機やトレーニング機器等の特定用途には専用コンセントを設置します。

（使用目的不明のため、体育室ステージの専用特殊照明は本工事から除きます）

5 . 拡 声 （ 非 常 放 送 ） 設 備

消防法により非常放送（一般業務兼用）を整備します。

アンプは事務室に設置します。

（体育室の演出用放送設備は本工事から除きます）

6 . 電 話 設 備

交換機、電話機を整備します。

電話用アウトレットを必要室に配置します。

7 . 情 報 設 備 （ L A N ・ W i F i ）

各室にL A N 用アウトレット、W i F i アンテナを設置し、館内の情報通信網を整備します。

8 . テ レ ビ 共 同 受 信 設 備

屋外にアンテナ（U H F ・ B S ・ F M ・ A M ）を設置し、各室に配線します。

9 . 監 視 カ メ ラ 設 備

駐車場廻りや館内の死角となる場所に監視カメラを配置し、事務室のモニターにより監視・記録します。

1 0 . ト イ レ 呼 出 ・ イ ン タ ー ホ ン 設 備

1）トイレ緊急時呼出警報

多目的トイレ内に緊急時呼出用の押釦を設置します。

事務室の呼出表示器に表示する他、トイレ入口のブザーと表示灯で異常を周囲に知らせます。

2）受付用インターホン

来客の受付用として、玄関ポーチにカメラ付ドアホンを設置します。

1 1 . 自 動 火 災 報 知 設 備

消防法により自動火災報知器を整備します。

事務室に受信機を設置し、火災発生時には非常放送と連動して周知します。

1 2 . 非 常 用 発 電 設 備

消防法により消火ポンプ運転用の自家発電機を整備します。

災害時に避難所として活用できるよう、一部の照明・コンセントに電源供給を行えるシステムを構築します。

1 9 . 機 械 設 備 計 画

1 . 既 存 設 備 の 解 体 ・ 撤 去

既存の暖冷房・換気・衛生器具・給排水設備を撤去し、建築改修に合わせて更新します。

2 . 暖 冷 房 設 備

改修部、増築部ともにガスヒートポンプエアコンによる暖冷房を整備します。
倉庫、用具室を除いた全館を暖冷房範囲とし、快適な室内環境を創り出します。
室外機は2台組合せ型を採用し、1台に故障が発生しても残りの1台でバックアップ
運転ができるようにします。
体育室の室内温度は省エネを考慮し、冷房時28℃、暖房時16℃を目安とします。
※ガスヒートポンプエアコンは「フロン排出抑制法」により、2027年から微燃性
冷媒（R32）に変更となり、冷媒漏洩対策が必要となります。
（配管継手の変更、および遮断装置・検知装置・警報装置の設置義務が発生）
各メーカーから仕様、価格等の資料がでてきていないため、どの程度の金額上昇と
なるのか明確になっていませんが、着工（設計）時期によっては現状の概算額より
も高額となることが予想されます。

3 . 換 気 設 備

体育室・事務室・会議室等の居室は熱ロスを抑える熱交換式換気とします。
便所・更衣室・倉庫等の非居室は自然給気と機械排気による第三種換気とします。

4 . 自 動 制 御 設 備

事務室で全館の暖冷房を制御できるシステムを構築します。
制御内容は運転・停止・温度設定・状態監視とします。

5 . 衛 生 器 具 設 備

省エネを考慮し、節水仕様の器具を採用します。
1）腰掛式便器 ⇒ パブリック用ロータンク・温水洗浄便座
2）多目的便器 ⇒ パブリック用ロータンク・温水洗浄便座
3）小 便 器 ⇒ 低リップ壁掛型・自動洗浄式
4）洗 面 器 ⇒ 自動水栓・電気温水器
5）各種手すり ⇒ はね上げ式・L型・小便器用

6 . 給 水 設 備

敷地内引込み管が老朽化している恐れがあるため、水道本管から新たに引き込みます。
災害時に避難所として活用できるよう屋外に受水槽を設置し、自動給水ポンプにより
建物に給水を行います。
受水槽は堅固で耐久性の高いステンレス製を採用し、配管が破損しても漏水を防止す
る緊急遮断弁を設けます。

7 . 給 湯 設 備

更衣室のシャワーに大量の給湯を供給するため、ガス給湯器を屋外に設置します。
授乳室や洗面器の給湯は使用量が少ないため電気温水器とします。

8 . 消 火 設 備

防火対象物の用途区分が「(1)イ」に該当します。
消防法により、屋内消火栓設備（1号）で建物全体を包含して初期消火に対応します。

9 . 排 水 設 備

建物の内外ともに汚水・雑排水を合流式で集水し、村の公共下水道へ排水します。
既存の公設枳や放流管の状態によっては、下水道本管から新たに引き込みます。

1 0 . ガ ス 設 備

男鹿市企業局より供給済みのガス管を利用し、建物に供給します。
企業局の指針に基づき、ガスヒートポンプエアコン・ガス給湯器に配管を敷設します。